

CTK-810 WK-110

取扱説明書（保証書別添）

ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、
正しくお使いください。

本書は、お読みになったあとも、大切に保管して
ください。






安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。



警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。

ACアダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - 必ず本機指定のACアダプターを使用する
 - 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
 - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - 重いものをのせたり、加熱しない
 - 加工したり、無理に曲げない
 - ねじったり、引っ張ったりしない
 - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。



⚠ 警告**電池について**

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。



- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性 (⊕と⊖の向き) に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

**水、異物はさける**

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。



1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・修理相談窓口にご依頼ください。

**落とさない、ぶつけない**

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。



1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。

⚠ 警告**袋をかぶらない、飲み込まない**

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**本機やスタンド*に乗らない**

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。







**不安定な場所に置かない**






ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

**⚠ 注意****ACアダプターについて**

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
 - プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体を持って抜く）
- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
 - 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
 - プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて乾いた布や掃除機で年一回以上清掃する
 - 電源コード（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない



 注 意	
移動させるときは	
移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
お手入れについて	
お手入れの際は、ACアダプター本体をコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
電池について	
電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。	
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で指定されている電池以外は使用しない ● 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく 	
コネクタ部への接続	
コネクタ部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
置き場所について	
本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
<ul style="list-style-type: none"> ● 湿気やほこりの多い場所 ● 調理台のそばなど油煙があたるような場所 ● 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所 	

 注 意	
表示画面について	
<ul style="list-style-type: none"> * 表示画面の液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。 * 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。 * 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。 * 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。 	
音量について	
大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。	
重いものを置かない	
本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	
スタンド※は正しく組み立てる	
スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。	

※スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。

主な特長

■ 515音色で演奏できます。(515音色) 16ページ

ステレオピアノやシンセサウンド、ドラムセットなど豊富な音色を備えています。また、音に奥行きや深みを与える効果がかかります(リバーブ/コーラス)。

■ ピアノ設定ボタンが付いています。17ページ

ワンタッチでピアノ演奏に適した設定に切り替わります。

■ 内蔵曲やパソコンからダウンロードした曲を練習して、できばえを採点することができます。(3ステップレッスン) 21ページ

- 3ステップレッスン機能: 曲をパートごとに3つのステップにわけて練習できます。液晶画面にガイドされる鍵盤表示を追いかけて練習することができます。
- 採点機能: 3ステップレッスン機能で練習した成果を採点することができます。また、レッスン中や終了後に採点状況を表示で知らせてくれます。

■ 100曲の内蔵曲を鳴らして楽しむことができます。18ページ

■ 120種類のリズムに合わせて演奏できます。(120リズム) 26ページ

ロックやポップス、ジャズなど120種類のリズムを備えています。

■ 一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。(自動伴奏機能) 27ページ

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。また、リズムごとにプログラムされた、リズムにふさわしい音色、テンポ設定などを瞬時に呼び出すことも可能です(ワンタッチプリセット機能)。

■ 本機の各種の設定をすばやく呼び出すことができます。(レジストレーション機能) 33ページ

曲に応じた音色、リズムの種類、テンポなどの各種の設定を一括して登録(レジストレーション)しておいて、後からすばやく呼び出すことができます。32セット(4セット×8バンク)まで登録可能です。

■ 練習した曲を録音、再生してその成果を聴いてみるすることができます。(録音機能) 35ページ

2パートの演奏内容を本体内に録音して聴くことができます。本機の3ステップレッスンでソングバンクの曲を練習した後にその成果を録音、再生して聴いてみるすることができます(レッスンソング)。自動伴奏機能と組み合わせることで、本格的なアンサンブルの曲作りも行えます(ユーザーソング)。

■ パソコンでダウンロードした曲データをソングバンクで使用できます。

(ダウンロード機能対応) 44ページ

付属のCD-ROMに内蔵されているSMF変換ソフトを利用すれば、本機に内蔵していない曲データを本機のソングバンク(最大5曲)に取り込んで、再生したり、3ステップレッスン機能で練習することができます。

カシオトーン用楽譜集のご紹介

多彩な音色やリズム、指一本でも本格的な演奏が楽しめる自動伴奏機能(カシオコード)などを、パーフェクトに使いこなしていただくための楽譜集です。

やさしく弾けるファミリーキーボードライブラリー カシオトーンランドシリーズ

CFL-101YC ようこそカシオトーンへ	CFL-102HC 初めてのカシオトーン	CFL-103KU こどものうた1	CFL-104KU こどものうた2
CFL-107HP ヒットポップス	CFL-108NM ニューミュージック	CFL-109EL イージーリスニング	CFL-111HS ヒットソング1
CFL-112HS ヒットソング2	CFL-113RK 永遠のロック		

★ご案内の内容は、本書印刷時点でのものです(万一品切れの際はご容赦ください)。

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店(全国の有名楽器店、デパートなど)でお求めになれます。

目次

安全上のご注意

主な特長 3

カシオトーン用楽譜集のご紹介 3

各部の名称 6

和文操作シートをセットする
(WK-110のみ) 9

譜面立ての立て方 10

すぐ使いたい方に 11

電源について 12

家庭用100V電源で使うときには 12

電池で使うときには 12

オートパワーオフ機能 13

メモリー内容について 14

ご使用上の注意 14

接続について 15

ヘッドホン/アウトプット端子について 15

パソコンとの接続について 15

サスティン/アサイナブル端子について 15

付属品・別売品について 15

基本的な操作をしてみましょう 16

音を出してみましょう 16

音色を選ぶには 16

音に効果(エフェクト)をかけるには 17

ピアノ設定ボタン 17

内蔵曲を鳴らしてみましょう 18

ソングバンクの曲を聴いてみましょう 18

曲のテンポを調節するには 19

曲を一時停止するには 19

曲を早戻しするには 19

曲を早送りするには 19

フレーズを繰り返し聴くには 20

メロディーの音色を変えるには 20

全曲を通して聴くには 20

内蔵曲を練習してみましょう

(3ステップレッスン) 21

採点機能について 22

練習&採点で曲をマスターしてみましょう 22

ステップ1: 弾くタイミングを覚えます 23

ステップ2: 弾く鍵盤、指使いを覚えます 23

ステップ3: 普通の速さで弾いてみましょう 24

採点してみましょう 24

運指音声(しゃべる運指) 25

メトロノームを使うには 25

自動伴奏を鳴らしてみましょう 26

リズムを選ぶには 26

リズムを鳴らすには 26

テンポを調節するには 27

コード自動伴奏を鳴らすには 27

イントロを入れるには 31

フィルインを入れるには 31

同じリズムで演奏パターンを変化させるには 31

バリエーションのリズムにフィルインを
入れるには 31

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには	32
エンディングを付けて曲を終わらせるには	32
ワンタッチプリセットを使うには	32

レジストレーション機能を 使ってみましょう 33

レジストレーション機能でできること	33
登録するには	34
登録した設定を呼び出すには	34

演奏を録音してみましょう 35

本機で録音できる内容とパート/ トラックについて	35
練習の成果を録音してみましょう (レッスンソング録音)	36
演奏をそのまま録音してみましょう (ユーザーソング録音)	37
ユーザーソング録音した演奏を 聴いてみましょう	38
メロディーの演奏を重ねて録音してみましょう (ユーザーソング録音)	39
特定のパート/トラックを消去するには	39

設定を変えてみましょう 40

レイヤー機能を利用するには	40
スプリット機能を利用するには	40
レイヤーとスプリットを同時に使うには	41
トランスポーズ/設定ボタンについて	42
トランスポーズ機能を利用するには	42
伴奏や内蔵曲の音量を変えるには	42
タッチレスポンス機能を利用するには	43
チューニング機能を使うには	43

パソコンとの接続について 44

ソングバンクの曲を増やすには	45
付属のCD-ROMに入っている SMFデータについて	46
GMIについて	46
設定を変えるには	46

保証・アフターサービスについて ... 48

困ったときは 49

資料 50

トーンリスト	50
リズムリスト	54
ソングバンクリスト	55
ドラム音色リスト	56
フィンガードコード一覧表	58

製品仕様 59

USB 端子で送信・受信される MIDI メッセージについて

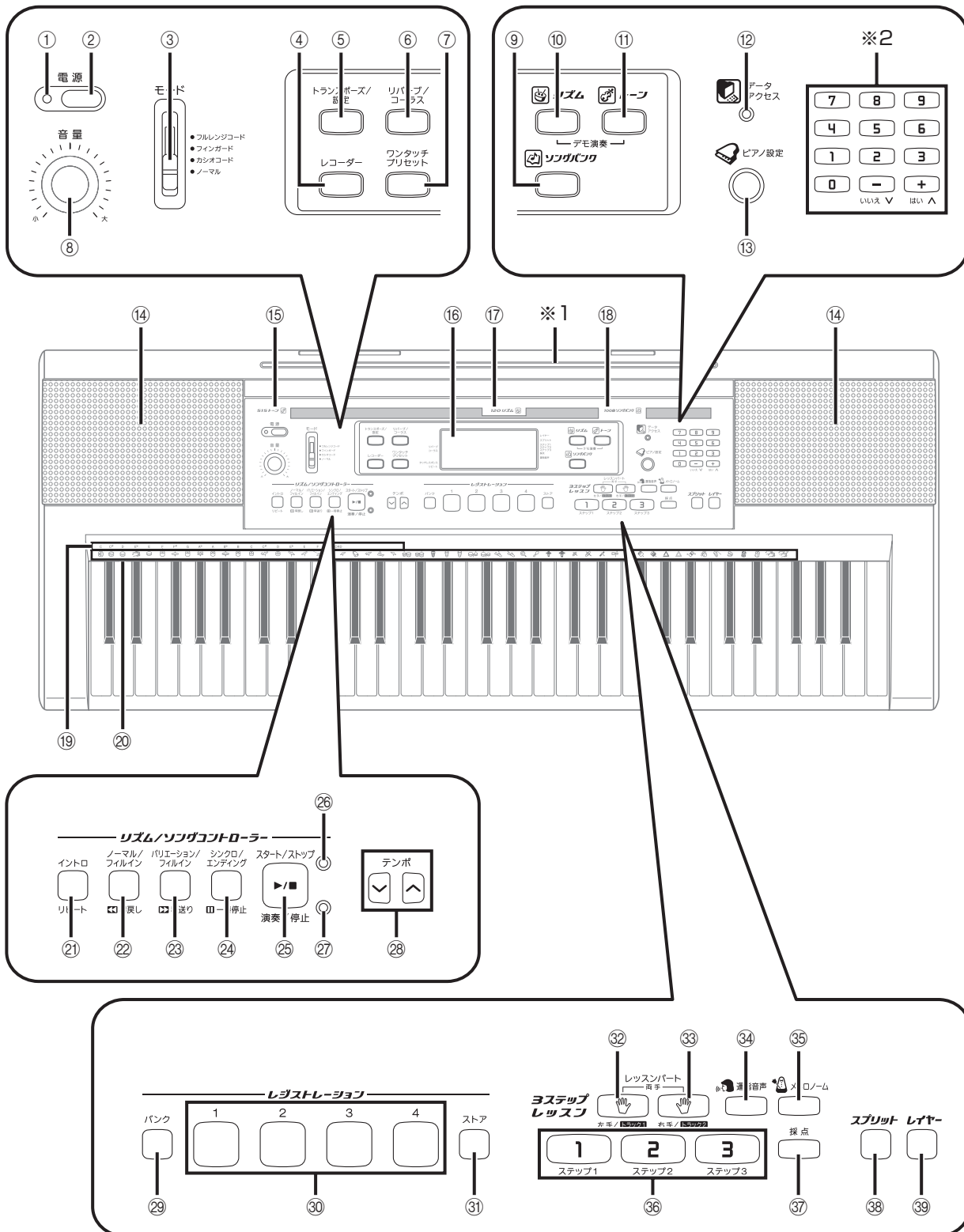
本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。



このマークはEU諸国におけるリサイクル規制のマークです。

各部の名称

■ CTK-810

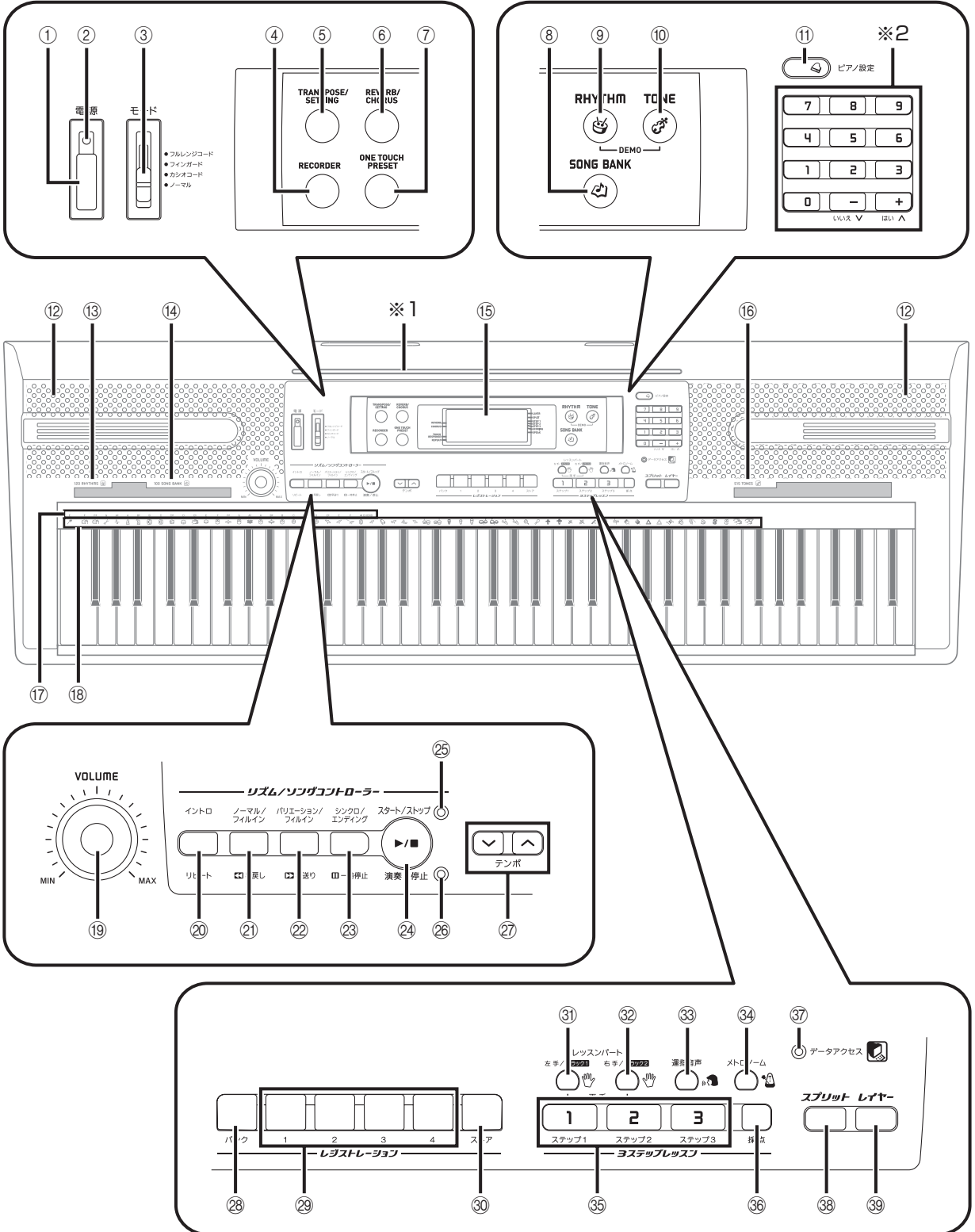


NOTE

- マークの右数字は、参照ページです。

- ① 電源ランプ 11
- ② 電源ボタン 11, 16
- ③ モードスイッチ 11, 16, 17, 26, 27, 32
- ④ レコーダーボタン 35~37, 39
- ⑤ トランスポーズ/設定ボタン 42, 43, 46~48
- ⑥ リバース/コーラスボタン 17
- ⑦ ワンタッチプリセットボタン 32
- ⑧ 音量つまみ 16
- ⑨ ソングバンクボタン 11, 18
- ⑩ リズムボタン 20, 26
- ⑪ トーンボタン 13, 16, 20
- ⑫ データアクセスランプ 45
- ⑬ ピアノ設定ボタン 17
- ⑭ スピーカー
- ⑮ トーンリスト 16, 20, 50
- ⑯ 液晶表示
- ⑰ リズムリスト 26, 54
- ⑱ ソングバンクリスト 11, 18, 55
- ⑲ 音名 28
- ⑳ 打楽器イラスト 16
- **リズム/ソングコントローラー**
 - ㉑ イントロボタン 31、
リピートボタン 20
 - ㉒ ノーマル/フィルインボタン 31、
早戻しボタン 19
 - ㉓ バリエーション/フィルインボタン 31、
早送りボタン 19
 - ㉔ シンクロ/エンディングボタン 32、
一時停止ボタン 19
 - ㉕ スタート/ストップボタン
17, 26, 27, 31, 36~38, 39
演奏/停止ボタン 18, 20, 23, 24
 - ㉖ リズムコントローラーランプ 10
 - ㉗ ソングコントローラーランプ 10
- ㉘ テンポボタン 19, 25, 27
- ㉙ バンクセレクトボタン 33, 34
- ㉚ レジストレーションボタン 33, 34
- ㉛ ストアボタン 34
- **3ステップレッスン**
 - ㉜ 左手/トラック1ボタン 23, 24, 35~37, 39
 - ㉝ 右手/トラック2ボタン 23, 24, 35, 36, 39
 - ㉞ 連指音声ボタン 25
 - ㉟ メトロノームボタン 25
 - ㊱ ステップ1~3ボタン 11, 23, 24
 - ㊲ 採点ボタン 24
- ㊳ スプリットボタン 41
- ㊴ レイヤーボタン 40, 41

■ WK-110



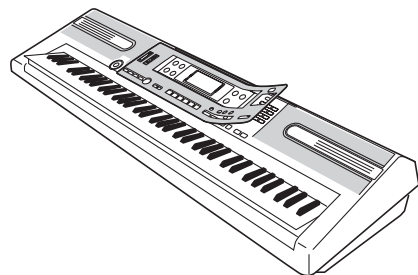
NOTE

- マークの右数字は、参照ページです。

- ① 電源ボタン 11, 16
- ② 電源ランプ 11
- ③ モードスイッチ 11, 16, 17, 26, 27, 32
- ④ レコーダーボタン 35~37, 39
- ⑤ トランスポーズ/設定ボタン 42, 43, 46~48
- ⑥ リバース/コーラスボタン 17
- ⑦ ワンタッチプリセットボタン 32
- ⑧ ソングバンクボタン 11, 18
- ⑨ リズムボタン 20, 26
- ⑩ トーンボタン 13, 16, 20
- ⑪ ピアノ設定ボタン 17
- ⑫ スピーカー
- ⑬ リズムリスト 26, 54
- ⑭ ソングバンクリスト 11, 18, 55
- ⑮ 液晶表示
- ⑯ トーンリスト 16, 20, 50
- ⑰ 音名 28
- ⑱ 打楽器イラスト 16
- ⑲ 音量つまみ 16
- リズム/ソングコントローラー
 - ⑳ イントロボタン 31、
リピートボタン 20
 - ㉑ ノーマル/フィルインボタン 31、
早戻しボタン 19
 - ㉒ バリエーション/フィルインボタン 31、
早送りボタン 19
 - ㉓ シンクロ/エンディングボタン 32、
一時停止ボタン 19
 - ㉔ スタート/ストップボタン
17, 26, 27, 31, 36~38, 39
演奏/停止ボタン 18, 20, 23, 24
 - ㉕ リズムコントローラーランプ 10
 - ㉖ ソングコントローラーランプ 10
- ㉗ テンポボタン 19, 25, 27
- ㉘ バンクセレクトボタン 33, 34
- ㉙ レジストレーションボタン 33, 34
- ㉚ ストアボタン 34
- 3ステップレッスン
 - ㉛ 左手/トラック1ボタン 23, 24, 35~37, 39
 - ㉜ 右手/トラック2ボタン 23, 24, 35, 36, 39
 - ㉝ 連指音声ボタン 25
 - ㉞ メトロノームボタン 25
 - ㉟ ステップ1~3ボタン 11, 23, 24
 - ㊱ 採点ボタン 24
- ㊲ データアクセスランプ 45
- ㊳ スプリットボタン 41
- ㊴ レイヤーボタン 40, 41

和文操作シートをセットする (WK-110のみ)

和文操作シートを本体の上ののせてください。

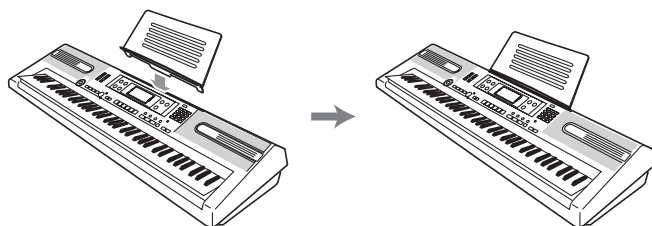


NOTE

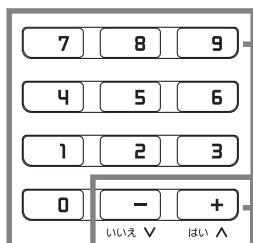
- 本書に記載されているイラストは、WK-110 のものです。

※1 譜面立ての立て方

譜面立ては、本体の上面にある溝に差し込んでお使いください。



※2

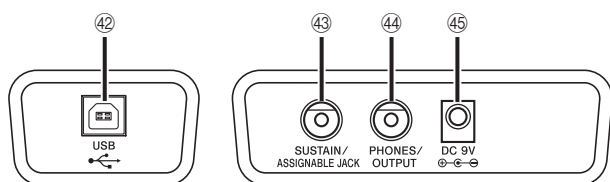


④① 数字ボタン
 ④② 16~18, 20,
 25, 26, 34, 42,
 43, 46~48

④① +/-ボタン
 ④③ 17~20, 25, 26, 39, 42, 43, 46~48

- 表示中の番号や数値を変更するときには押します。
- 負の数は+/-ボタンでのみ指定できます。

【背面図】



- ④② USB端子(USB) ④④ 44
- ④③ サスティン/アサインابل端子 (SUSTAIN/ASSIGNABLE JACK) ④⑤ 15
- ④④ ヘッドホン/アウトプット端子 ④⑥ 15 (PHONES/OUTPUT)
- ④⑤ 電源端子(DC 9V) ④⑦ 12

コントローラーランプについて

リズムコントローラーランプ (CTK-810 : ②⑥、WK-110 : ②⑤)

リズムボタンを押した場合には、リズムコントローラーランプが点灯し、②①~②⑤ (WK-110は②①~②④) のボタンがリズムをコントロールする機能として働くことを示します。

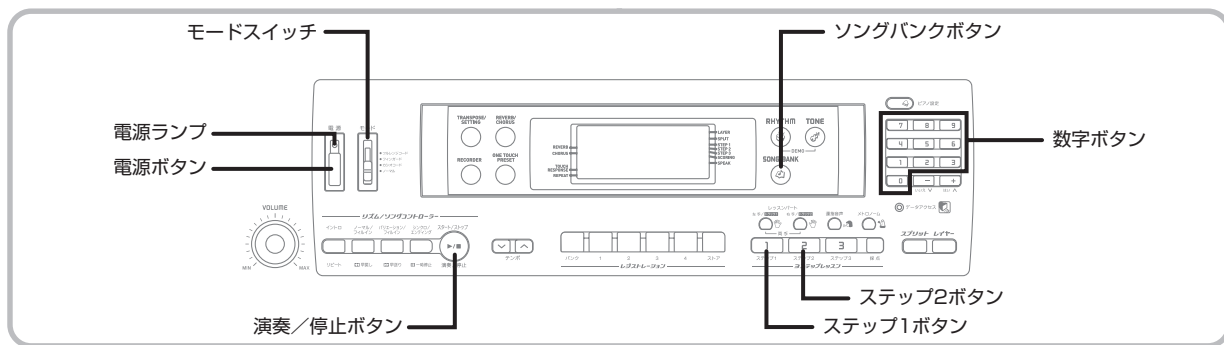
ソングコントローラーランプ (CTK-810 : ②⑦、WK-110 : ②⑥)

ソングバンクボタンを押したり、リズムボタンとトーンボタンを同時に押してデモ演奏をスタートさせると、ソングコントローラーランプが点灯し、②①~②⑤ (WK-110は②①~②④) のボタンが演奏曲をコントロールする機能として働くことを示します。

NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 液晶表示素子はその特性上、見る角度によってコントラストが変わります。本機ではイスに座ったときの演奏姿勢で見やすくするように初期設定されています。なお、お客様の好みでコントラストを調整することはできません。

すぐ使いたい方に



本機に内蔵の100曲の自動演奏曲を、液晶画面に表示される鍵盤ガイドに従って弾きながら、3つのステップでマスターできます。ここではステップ1、2を使って演奏してみましょう。

1 電源ボタンを押して電源をオンにします。

- 電源ランプが点灯します。



2 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。



3 ソングバンクボタンを押します。



4 ソングバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号(3桁)を押します。

- ソングバンクリストは、巻末にも記載されています(55ページ)。

例：“047 アロハ・オエ (ALOHA OE)” の場合は、“0→4→7”の順番に押します。



5 ステップ1ボタンまたはステップ2ボタンを押します。

- カウントが鳴り待機状態になります。初めに押さえるべき鍵盤が画面上で点滅します。

6 メロディーを弾いてみましょう。

- 液晶表示に押さえるべき鍵盤、指使い、音の高さが表示されます。



- 操作5でステップ1を押したとき

- 鍵盤を押してください。
- メロディーを弾く速さに合わせて、伴奏(または左手パート)がついていきます。画面上で点灯していない鍵盤を押してもメロディーが鳴ります。

- 操作5でステップ2を押したとき

- 画面上で点灯している鍵盤を押してください。
- 点灯している間、鍵盤を押さえます。(両手演奏曲を選んだときは、鍵盤を押すと同時に点灯が消えます。)
- 次に押さえる鍵盤が画面上で点滅します。
- 正しい鍵盤を押さえて弾くと、伴奏(または左手パート)がついてきます。

7 レッソンを途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。

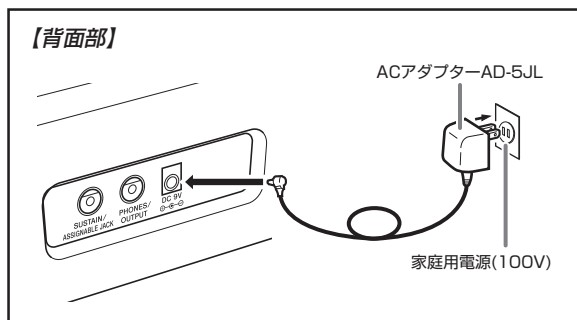
電源について

本機は家庭用100V電源、電池が使える2電源方式です。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

家庭用100V電源で使うときには

本機指定のACアダプターを接続してください。

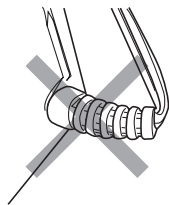
本機指定ACアダプターの型式：AD-5JL



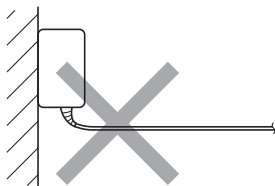
コード部の断線防止のため、次の点にご注意ください。

<使用時>

- コードを強く引っ張らない
- コードを繰り返し引っ張らない
- コードの根元部分を折り曲げない



- コードをピンと張った状態で使用しない

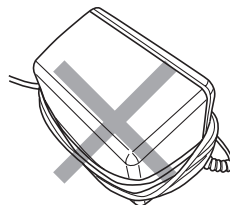


<移動時>

- 本体を移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから外す

<保管時>

- コードは図のようにACアダプター本体に巻き付けず、束ねてまとめる



電池で使うときには

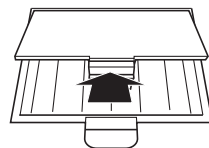
電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

NOTE

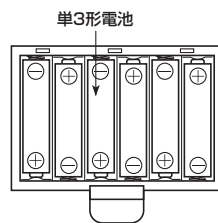
- 電源を入れたまま電池を交換すると、正常に機能しない場合があります。この場合、一度電源を切ってから再び電源を入れ直してください。

<CTK-810>

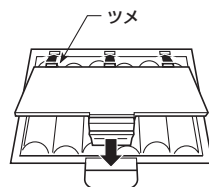
- 1 本機底面部の電池ケースのフタをはずします。



- 2 単3形電池6本を入れます。
 - ⊕ ⊖の向きに注意してください。

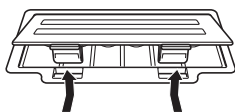


- 3 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。



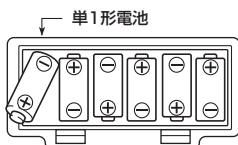
<WK-110>

- ① 電池ケースのフタ
をはずします。

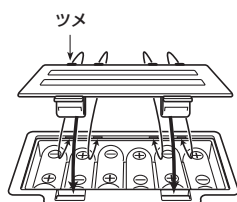


- ② 単1形電池6本を
入れます。

- ⊕ ⊖の向きに注意して
ください。



- ③ 電池ケースの穴に
ツメを差し込み、
電池ケースのフタ
を閉じます。



電池について

- 電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。

- アルカリ電池使用時……<CTK-810> 約2.5時間*
- マンガン電池使用時……<WK-110> 約6時間*

※ 常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

⚠ 警告

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性 (⊕と⊖の向き) に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

NOTE

- オキシライド乾電池などニッケル系一次電池を本機に使用しないでください。電池の特性と本機仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさないことや、誤動作の原因となることがあります。

※『オキシライド乾電池』は、松下電器産業株式会社の商標または登録商標です。

オートパワーオフ機能

オートパワーオフ機能について

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。

無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約6分で自動的に電源が切れます。

この場合、電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

NOTE

- アダプターを使用しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

オートパワーオフ機能をキャンセルするには

トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- このときは、放置しておいても電源が切れたりすることはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- 電源を入れ直すとオートパワーオフ機能が働くようになります。

メモリー内容について

レジストレーション機能や録音機能を使って本機に記憶させた内容や、パソコンから本機のソングバンクに記憶させた内容は、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の働きで電源が切れた後も保たれます。

電源の役割

上記の記憶内容は、本機への電源供給が続いている限り保たれます。電池を入れずにACアダプターを抜いたり、電池作動中に電池が消耗した場合など、本機への電源供給が絶たれると、各設定は初期状態に戻り、記憶内容は消去されます。

記憶内容を保つためには

本機への電源供給が途切れると、記憶内容は消去されます。記憶内容を保つためには、下記の事項を守ってください。

- 電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない電池を入れておいてください。

なお、上記の操作は電源ボタンで電源を切ってから行ってください。

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

- **テレビやラジオの近くでは使わないでください。**
テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから十分に離してお使いください。
- **お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。**
鍵盤などのお手入れは、柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。
- **極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。**
液晶表示の濃淡が極端に変化し、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのほひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

接続について

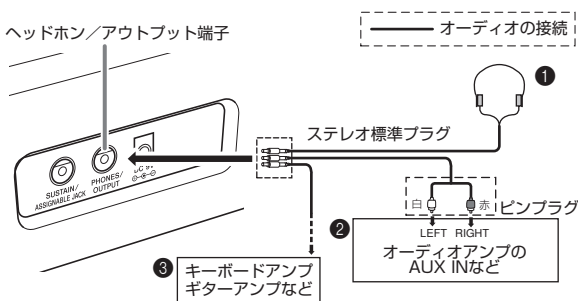
ヘッドホン／アウトプット端子について

準備

- 接続の際は、本機の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】

ヘッドホン／アウトプット端子



●ヘッドホンをつなぐには（図①）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

●オーディオ機器と接続するには（図②）

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオ標準プラグのものをご利用ください。（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）通常はオーディオ機器側のインプットセレクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

●楽器用アンプと接続するには（図③）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード*を使用します。

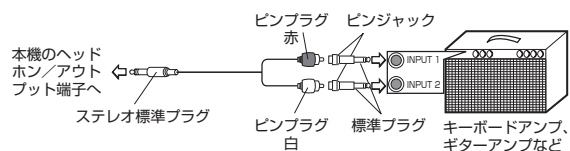
*本機につなぐ側：ステレオ標準プラグのもの

アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする。

（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

【接続例】



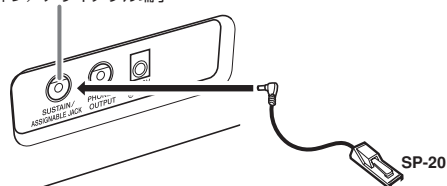
パソコンとの接続について

パソコンに接続して使用することもできます（44ページ「パソコンとの接続について」参照）。

サスティン／アサイナブル端子について

サスティン／アサイナブル端子にサスティンペダル（SP-3またはSP-20）を接続すると、下記のような使い方ができます。それぞれの設定方法については、「サスティン／アサイナブル端子の設定」（48ページ）をご参照ください。

サスティン／アサイナブル端子



●サスティンペダルとして使うと

- ピアノなど減衰音では…ピアノのダンパーペダル同様、鍵盤で弾いた音に余韻の残る効果。
- オルガン系の持続音では…ペダルを踏んでいる間、鍵盤で弾いた音が鳴り続ける「ホールド効果」。

●ソステヌートペダルとして使うと

- サスティンペダルと同様の効果が、鍵盤で弾いた音にかかります。
- サスティンペダルとの違いは効果をかけるタイミングにあります。
- 鍵盤を押してから、その鍵盤を離す前にペダルを踏めば、その音に対してのみ効果がかかります。

●ソフトペダルとして使うと

鍵盤で弾いた音の音量が小さくなります。

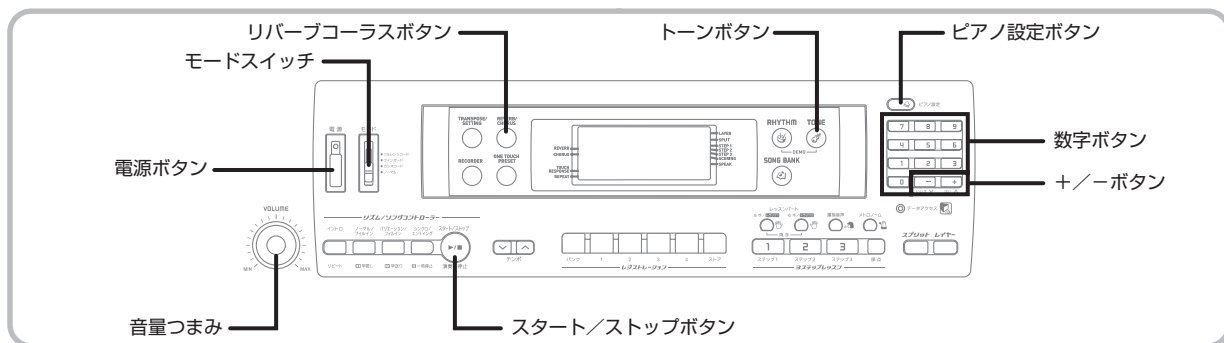
●リズムのスタート／ストップとして使うと

ペダル操作で、リズムのスタート／ストップボタンと同じ働きをします。

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のもを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

基本的な操作をしてみましょう



ここでは本機の基本操作について説明します。

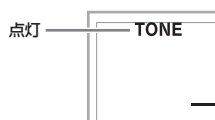
音を出してみましょう

- 1 電源ボタンを押します。
- 2 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- 3 音量つまみを調節します(弾く前は小さめにしておきましょう)。
- 4 鍵盤を弾いてみましょう。

音色を選ぶには

本機には515種類の音色が内蔵されています。ここで、どんな音色が入っているのかを試してみましょう。

- 1 トーンリストから鳴らしたい音色を選び、その番号を確認します。
 - 本体上のトーンリストでは、音色名が省略されています。巻末の「トーンリスト」(50ページ)に全音色が記載されています。
- 2 トーンボタンを押します。



- 3 数字ボタンを使って、音色の番号を数字(3桁)で入力します。

例：“111 アコースティックベース (ACOUSTIC BASS)”
なら、“1→1→1”と入力します。



NOTE

- 音色は、必ず3桁で指定してください(例：032 = 0→3→2)。1桁目または2桁目の入力後、何も入力しないと、数秒後に元の音色番号表示に戻ります。
- 音色表示中に+/-ボタンで音色番号を1つつ切り替えて呼び出すこともできます。
- 音色番号501～515のドラムセットは、鍵盤ごとに異なる打楽器が割り当てられています。(鍵盤上の打楽器イラストおよび56ページ参照)

同時発音数について

本機は、同時に最大32音まで発音します。ただし、一部の音色では2種類の音色を組み合わせるため最大16音になるものもあります。

- リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

音に効果(エフェクト)をかけるには

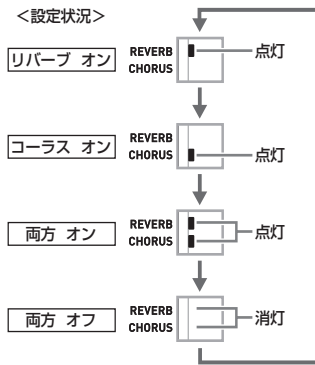
本機には、以下の2種類のエフェクトがあります。それぞれオン/オフ、4タイプから設定できます。

リバーブ・・・残響の効果

コーラス・・・音が広がるような効果

1 リバーブ/コーラスボタンを押すごとに、設定が切り替わります。

- エフェクトの設定状況は、画面上のリバーブ、コーラスインジケータで確認できます。



2 リバーブ、コーラスインジケータを点灯させ、数秒以内に数字ボタンまたは+/-ボタンを使って、各エフェクトのタイプを選びます。

リバーブ	1 : Room 1
	2 : Room 2
	3 : Hall 1
	4 : Hall 2
コーラス	1 : Chorus 1
	2 : Chorus 2
	3 : Chorus 3
	4 : Chorus 4

ピアノ設定ボタン

ピアノ設定ボタンを押すと、ピアノ演奏に適した設定に切り替わります。

<設定される内容>

音色番号：“001”

リズム番号：“101”

レイヤー：オフ

スプリット：オフ

リバーブ：オン (タイプ3)

コーラス：オフ

トランスポーズ：00

タッチレスポンス：

オフに設定されている場合は、初期値に戻る

オンに設定されている場合は、変更なし

アサインブルジャック：SUS

ローカルコントロール：オン

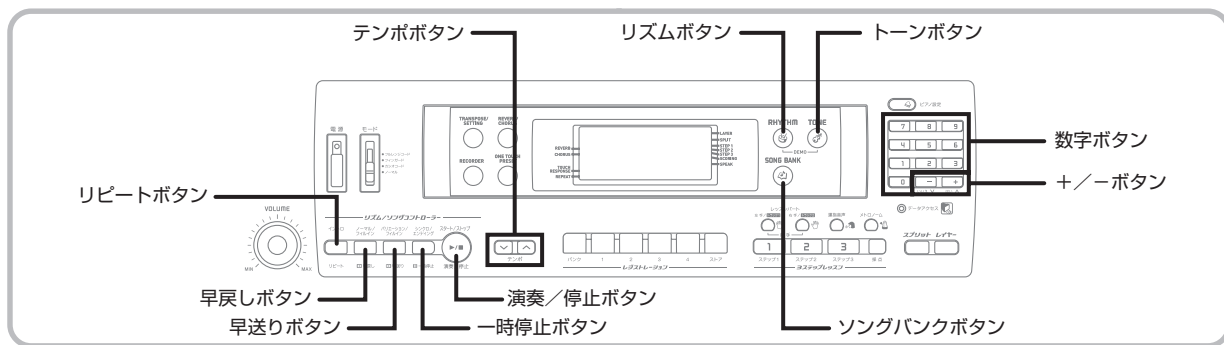
■ 操作手順

- 1 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
- 2 ピアノ設定ボタンを押します。
- 3 鍵盤を弾いてみましょう。
 - ピアノの音色で演奏できます。
- 4 リズム伴奏を付けたい場合は、スタート/ストップボタンを押します。
 - ピアノ演奏に適したリズムが演奏されます。
 - リズムを止めるには、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

NOTE

- リズム演奏中にピアノ設定ボタンを押した場合は、演奏が止まり、上記の<設定される内容>に切り替わります。
- 以下の場合、ピアノ設定ボタンを押しても設定が切り替わりません。
 - ソングメモリー機能で、リアルタイム録音中
 - デモ演奏中

内蔵曲を鳴らしてみましょ



本機は100種類の自動演奏曲を内蔵しています。その中からお好きな曲を選んで、聴いたり、練習したりできます。内蔵曲は、次のように2つのグループにわかれています。

	曲番号	左手パート	右手パート
自動伴奏曲	<CTK-810> 001, 004 ~ 050 <WK-110> 003 ~ 050	自動伴奏 (打楽器、ベース、コード)	メロディー
両手演奏曲	<CTK-810> 002, 003, 051 ~ 100 <WK-110> 001, 002, 051 ~ 100	左手	右手

内蔵曲に加えて、パソコンからダウンロードした曲を再生することもできます (45 ページ参照)。

ソングバンクの曲を聴いてみましょう

準備

- 全体の音量 (16 ページ) を調節します。

1 ソングバンクリストから曲を選び、その番号を確認します。

- ソングバンクリストは、巻末にも記載されています (55 ページ)。

2 ソングバンクボタンを押してソングバンクモードにします。



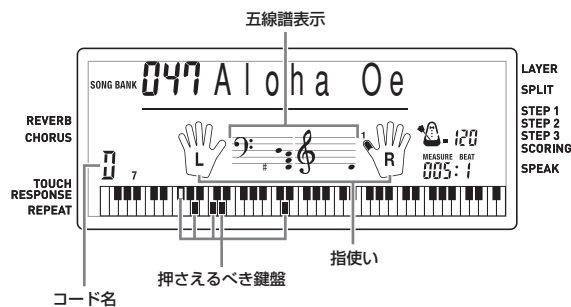
3 数字ボタンで、曲の番号 (3桁) を入力します。
例: "047 アロハ・オエ (ALOHA OE)" なら、"0→4→7" と入力します。



NOTE

- 電源を入れたときは001番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、+/-ボタンでも指定できます。

4 演奏/停止ボタンを押すと自動演奏が始まります。



5 演奏/停止ボタンを押すと自動演奏が止まります。
● 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

曲のテンポを調節するには

曲を選んだ直後には、その曲のおすすめのテンポが設定されています。曲の演奏中、テンポの値（1分間に演奏される4分音符の数）は30～255の範囲で自由に調節できます。

1 テンポボタンを押します。

- ▲…数値が増える（テンポが速くなる）
- ▼…数値が減る（テンポが遅くなる）
- テンポ：1分間に演奏される4分音符の数です。



NOTE

- テンポ値の点滅中は、数字ボタン*、+/-ボタンでも調節できます。
※“090”のように3桁で入力します。
- テンポボタンの▲/▼ボタンを同時に押すと、現在選ばれている曲のおすすめのテンポに戻ります。

曲を一時停止するには

曲の演奏中に一時停止ボタンを押すと、演奏が一時的に停止します。もう一度ボタンを押すと、止めた位置から演奏を再開できます。

1 曲の演奏中に一時停止ボタンを押します。

- 曲の演奏が止まります。

2 もう一度、一時停止ボタンを押すと、曲が止まった位置から演奏を再開します。

曲を早戻しするには

現在演奏している位置から前の方向へ1小節単位で移動します。

1 曲の演奏中（または一時停止中）に早戻しボタンを押し続けます。

- 1小節単位で早戻しを始めます。
- 早戻し中の小節数と拍数を表示します。



2 早戻しボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

- 演奏/停止ボタンで曲を止めた場合は、早戻しの操作が行えません。

曲を早送りするには

現在演奏している位置から後の方向へ1小節単位で移動します。

1 曲の演奏中（または一時停止中）に早送りボタンを押し続けます。

- 1小節単位で早送りを始めます。
- 早送り中の小節数と拍数を表示します。



2 早送りボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

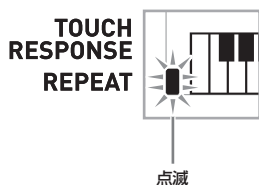
- 演奏/停止ボタンで曲を止めた場合は、早送りの操作が行えません。

フレーズを繰り返し聴くには

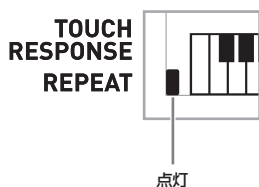
曲の演奏中に小節単位で、特定のフレーズ（区間）を繰り返し再生させることができます。

- 1 曲の再生中に、リピートの開始点にしたい小節でリピートボタンを押します。

●画面のリピートインジケータが点滅します。



- 2 リピートの終点(折り返し点にしたい小節)で、もう一度リピートボタンを押します。



●リピートを解除するには、もう一度リピートボタンを押して、画面のリピートインジケータを消灯させます。

NOTE

- + / - ボタンでも音色を切り替えられます。
- 同じ曲をもう一度選び直すと、あらかじめその曲に設定されている音色に戻ります。

全曲を通して聴くには

100種類の内蔵曲を、すべて通して聴くことができます。

- 1 リズムボタンとトーンボタンを同時に押します。
 - ソングバンクの001の曲から順に、すべての曲を通して自動演奏します。
- 2 演奏/停止ボタンを押して、自動演奏を停止します。

NOTE

- 全曲を通して聴いているとき、数字ボタンまたは + / - ボタンを押すと好きな曲を選んで聴けます。
- 全曲を通して聴いているとき、演奏中の曲のメロディーで使用されている音色で鍵盤演奏が楽しめます。

メロディーの音色を変えるには

本機の音色の中から、曲のメロディーの音色を選ぶことができます。音色の変更は、曲の演奏中でも、一時停止中でも行えます。

- 1 トーンボタンを押します。



- 2 トーンリストから音色を選び、数字ボタンで音色番号を入力します。

例：“131 バイオリン (VIOLIN)” なら、“1→3→1” と入力します。



内蔵曲を練習してみましょう(3ステップレッスン)

本機の3ステップレッスンを使って、内蔵曲やパソコンからダウンロードした曲(45ページ参照)を練習し、できればを採点することができます。

<レッスンの流れ>

ステップ1 → ステップ2 → ステップ3 → 採点

3ステップレッスン機能について

3ステップレッスンは、内蔵曲を3つのステップに分けて練習していくための機能です。

ステップ1：弾くタイミングを覚えます ㊦23ページ

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます ㊦23ページ

ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう ㊦24ページ

練習できるパート

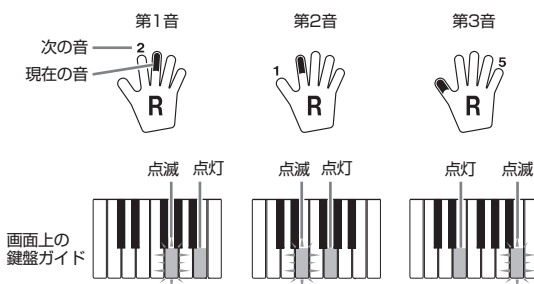
3ステップレッスンでは、右手、左手、両手のすべてのパートを練習できます。

3ステップレッスンでの液晶表示について

3ステップレッスンで自動伴奏の曲を選んでいるとき、液晶表示鍵盤部分と五線譜部分で、音の高さ、音の長さが表示されます。同時にその音符を弾くための指使いを液晶表示で確認できます。それぞれの見方は次の通りです。

- 音の高さ …… 画面上で現在点灯している鍵盤が押さえるべき鍵盤です。音の高さは五線譜の表示でも確認できます。指使いの液晶表示は押さえる指の位置が点灯します。
- 音の長さ …… 画面上の鍵盤が点灯してから消灯するまでの時間が、その音の長さになります。五線譜や指使いの表示も同じ間だけ点灯します。
- 次の音 …… 画面上の点滅している鍵盤が、次に押さえる鍵盤です。指使いの表示は次に押さえる指の番号が点灯します。
- 同じ音の高さが連続する場合
…………… 画面上の鍵盤が前の音の音符の長さだけ点灯した後、一瞬消灯して再び点灯します。五線譜や指使いの表示も同様に点灯します。

例：3、2、1の指の順で弾いた場合



NOTE

- 両手演奏曲のステップ1と2では、音の長さのガイドは行いません。点灯した鍵盤を押さえると同時に消灯し、次に押さえるべき鍵盤が点滅します。
- 両手演奏曲のステップ3では音の長さも鍵盤ガイドで示されます。この場合、点灯している鍵盤が押さえる鍵盤で、次に押さえる鍵盤は点滅しません。
- ステップ3では次の音の指番号は表示しません。現在の音の指番号を表示します。

3ステップレッスンのテンポ設定について

3ステップレッスンのテンポは、「曲のテンポを調節するには」(19ページ)の方法で変更することができます。

採点機能について

3 ステップレッスン機能で練習した成果を 100 点満点で採点してくれる機能です。採点モードで演奏中も、画面上で演奏の評価を確認できます。

採点モード中の画面表示について

レベルインジケータ (9 段階) : 現在の演奏評価が一目でわかります。インジケータの点灯が多いほど、得点が高いことを表します。

例 : 50 点の場合



星マーク : 採点モード中、各音符ごとにタイミングのずれ具合を知らせてくれます。星マークの点灯が少ないほど、タイミングがずれていることを表します。



音のガイドについて

鍵盤を押すタイミングがずれると、演奏している音色が違う音色に変わり、タイミングが悪かったことを知らせてくれます。

採点結果について

曲の始めから最後まで演奏を採点し、総合得点と評価ランクを画面に表示します。

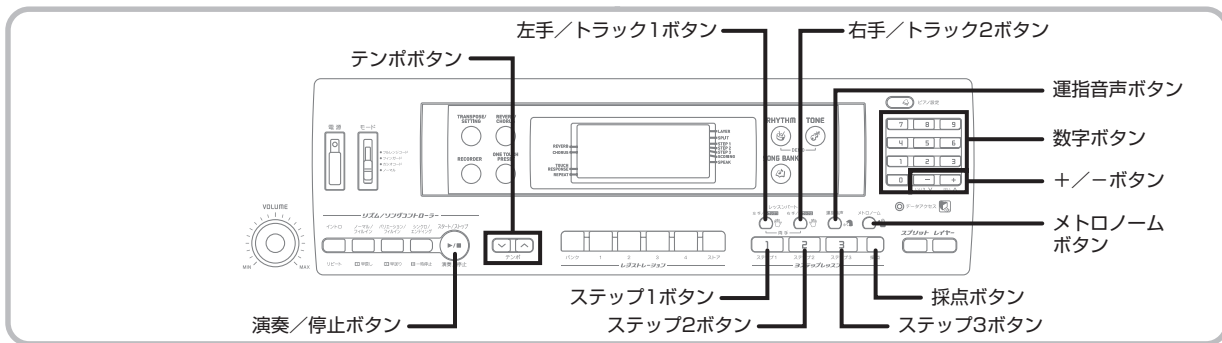
<評価ランクの表示>

画面表示	
"Bravo!"	↑ (高) 評価のランク ↓ (低)
"Great!"	
"Not bad!"	
"Again!"	

- "****" 採点を途中で止めた場合に表示されます

練習&採点で曲をマスターしてみよう

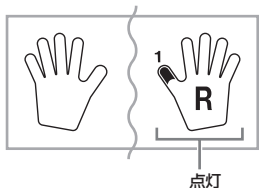
3 ステップレッスン機能と採点機能を利用して、曲をマスターしてみましょう。



ステップ1:弾くタイミングを覚えさせます

鍵盤を弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここではガイドの点灯する鍵盤にタイミングを合わせて、鍵盤のいずれか1つを続けて押すだけで演奏できます。押しまちがいを気にせず、鍵盤を弾くタイミングだけ覚えましょう。

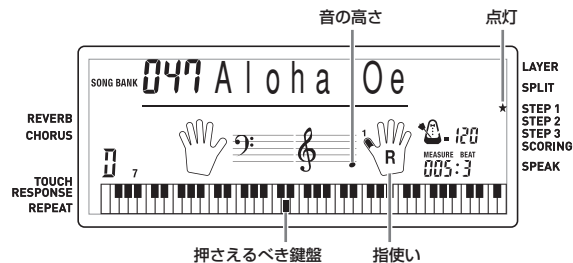
- 1 レッスンする曲を選びます。
- 2 左手/トラック1ボタンまたは右手/トラック2ボタンを押して、練習したいパートを選びます。
 - 選んだパートに対応して、画面上の手のL, Rの文字表示が点灯します。



〈両手を同時に練習したい場合〉

- 左手/トラック1ボタンと右手/トラック2ボタンを同時に押します。

- 3 ステップ1ボタンを押して、ステップ1のレッスンを開始します。



- カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き) 1音目の待機状態になります。
- 片手パートのみをレッスンパートに選んでいる場合は、指番号が音声でガイドされます(「連指音声」25ページ参照)。

- 4 鍵盤のいずれか1つを続けて押して、演奏してみましょう。

- カウント中および前奏中は、液晶画面に初めに押さえる鍵盤が点滅します(演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します)。弾くタイミングになると、鍵盤のガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏(または左手パート)は、次の鍵盤を押さえるまで待ってください。
- 誤って複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけ音が進行しますのでご注意ください。ただし、複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、1つしか音は進みません。

- 5 レッスンを途中で止めるときは、ステップ1ボタンまたは演奏/停止ボタンを押します。

ステップ2:弾く鍵盤、指使いを覚えさせます

音を正しく鍵盤で弾くレッスンです。指使い(連指)を液晶表示で確認しながら、ガイドが示す通りに弾いてみましょう。伴奏(または左手パート)はメロディー(または右手パート)を正確に弾くまで待っていただけますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

- 1 レッスンする曲を選びます。
- 2 左手/トラック1ボタンまたは右手/トラック2ボタンを押して、練習したいパートを選びます。
 - 選んだパートに対応して、画面上の手のL, Rの文字表示が点灯します。

〈両手を同時に練習したい場合〉

- 左手/トラック1ボタンと右手/トラック2ボタンを同時に押します。

- ③ ステップ2ボタンを押して、ステップ2のレッスンを開始します。



- カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き) 1音目の待機状態になります。
- 片手パートのみをレッスンパートに選んでいる場合は、指番号が音声でガイドされます (「運指音声」25 ページ参照)。

- ④ 画面の鍵盤表示に合わせて演奏してみましょう。

- カウント中および前奏中は初めに押さえる鍵盤が点滅します (演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します)。弾くタイミングになると、鍵盤のガイドは点滅から点灯に変わります。
- 両手演奏曲で複数の鍵盤が点灯しているときは、それらの鍵盤をすべて押さえたときに曲が進行します。

- ⑤ レッスンを途中で止めるときは、ステップ2ボタンまたは演奏/停止ボタンを押します。

- ③ ステップ3ボタンを押して、ステップ3のレッスンを開始します。



- 伴奏 (左手パート) が普通の速さで演奏されます。

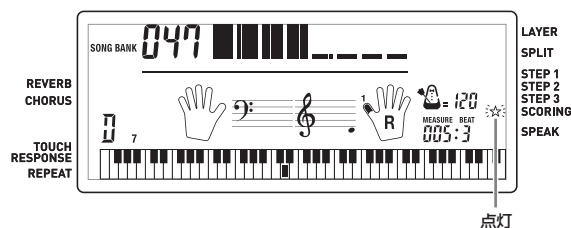
- ④ ガイドに合わせて演奏してみましょう。

- ⑤ レッスンを途中で止めるときは、ステップ3ボタンまたは演奏/停止ボタンを押します。

採点してみましょう

- ① 採点ボタンを押します。

- 画面上の採点インジケーターが点灯します。



- カウントの後、採点モードになります。

- ② 画面表示を目安にして、演奏してみましょう。

- 採点を途中で止めるときは、演奏/停止ボタンを押します。そこまでの演奏に対する得点のみ、画面表示されます (評価ランクは "****" が表示されます)。

- ③ 演奏が終了すると、採点結果を表示します。

- 評価ランクの表示については、22ページの「採点結果について」を参照してください。
- ソングバンクボタンを押すと、曲の選択画面に戻ります。

ステップ3: 普通の速さで弾いてみましょう

ステップ2で練習した曲を普通の速さで弾くレッスンです。押さえる鍵盤はガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

- ① レッスンする曲を選びます。

- ② 左手/トラック1ボタンまたは右手/トラック2ボタンを押して、練習したいパートを選びます。

- 選んだパートに対応して、画面上の手のL, Rの文字表示が点灯します。

〈両手を同時に練習したい場合〉

- 左手/トラック1ボタンと右手/トラック2ボタンを同時に押します。

095 Bravo!
SCORE

運指音声 (しゃべる運指)

指番号を音声でガイドします。ステップ1あるいは2をレッスン中で、片手パートのみを選択しているとき、弾くべき鍵盤の指番号を喋っていきます。たとえば、親指なら「One (ワン)」と、親指・中指・小指なら「One (ワン)」「Three (スリー)」「Five (ファイブ)」と順にしゃべってガイドする機能です。

運指音声は、弾くべきタイミングになっても鍵盤が押されなかった場合にだけガイドされます。

<運指音声ガイド>

- One (ワン) : 指番号 1 / 親指
- Two (ツー) : 指番号 2 / 人さし指
- Three (スリー) : 指番号 3 / 中指
- Four (フォー) : 指番号 4 / 薬指
- Five (ファイブ) : 指番号 5 / 小指

運指音声をオン/オフするには

運指音声ボタンを押して、運指音声のオン/オフを切り替えます。

- 画面上に運指音声のインジケータが点灯しているときは、運指音声は鳴りません。



NOTE

- 採点中は、運指音声ガイドを使用できません。
- 採点機能を終了すると、運指音声は採点モードに入る前の設定に戻ります。

メトロノームを使うには

本機はメトロノーム音を鳴らすことができます。メトロノーム音には小節の1拍目に鳴るベル音と、その他の拍に鳴るクリック音があります。伴奏 (リズム) の無い曲の練習に活用できます。

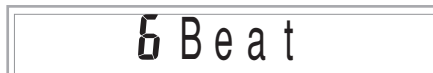
1 メトロノームボタンを押してメトロノーム音を鳴らします。

- 画面上の "Beat" 表示が点灯します。5秒以内に操作2を行ってください。



2 数字ボタンまたは+/-ボタンで拍子を決めます。

- 0、2、3、4、5、6拍子が設定できます。



NOTE

- 0拍子を選んだ場合は、ベル音は鳴らず、クリック音のみが鳴ります。拍子数にかかわらず練習するのに便利です。

3 テンポボタンを押してテンポを決めます。

- へ… 数値が増える (テンポが速くなる)
- ∨… 数値が減る (テンポが遅くなる)



NOTE

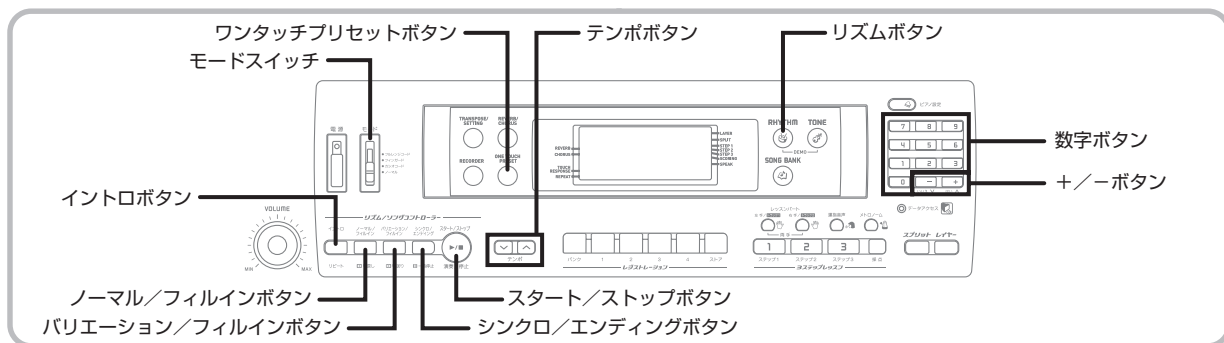
- テンポの数値の点滅中は、数字ボタン*、+/-ボタンでも調節できます。
※ "090" のように3桁で入力します。
- テンポボタンのへ/∨ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムや内蔵曲のお勧めのテンポになります。

4 メトロノームボタンを押すとメトロノーム機能がオフになります。

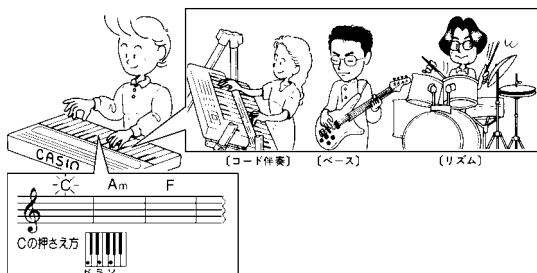
NOTE

- ステップレッスンのステップ1、ステップ2ではメトロノーム機能は使用できません。

自動伴奏を鳴らしてみましょ



本機では曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート(低音部)とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム(打楽器音)と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気合った音色が鳴ります。これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



3 数字ボタンで、リズムの番号を数字(3桁)で入力します。

例: "095 ハワイアン (HAWAIIAN)" なら "0→9→5" と入力します。



NOTE

- リズム番号は、+/-ボタンでも指定できます。
- 110、112～120番のリズムは、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていません。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。

リズムを選ぶには

本機にはロック、ポップス、ジャズなど、120種類のリズムが搭載されています。

1 リズムリストから鳴らしたいリズムを選び、その番号を確認します。

- 本体上のリズムリストでは、リズム名が省略されています。巻末の「リズムリスト」(54ページ)に全リズムが記載されています。

2 リズムボタンを押して、リズムモードにします。



リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

1 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。

2 スタート/ストップボタンを押します。

- 選ばれたリズムが鳴り始めます。

3 スタート/ストップボタンを押すと停止します。

NOTE

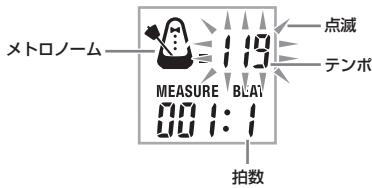
- モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。

テンポを調節するには

テンポ（1分間に演奏される拍数）を30～255の範囲で調節します。テンポの設定は、ソングバンク、3ステップレッスン、コード自動伴奏、録音機能、メトロノーム機能に対して有効です。

1 テンポボタンを押します。

- ▲…数値が増える（速くなる）
- ▼…数値が減る（遅くなる）



NOTE

- テンポの数値の点滅中は、数字ボタン*、+/-ボタンでも調節ができます。
※“090”のように3桁で入力します。
- テンポボタンの▲/▼ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムのお勧めのテンポになります。

コード自動伴奏を鳴らすには

準備

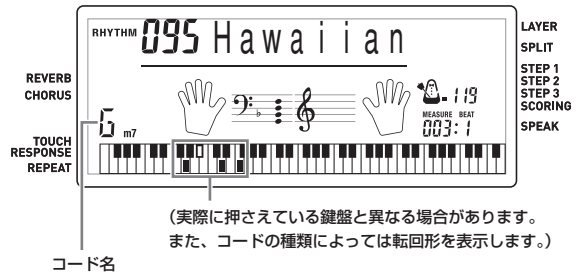
- リズムを選び、テンポを調節します。

1 モードスイッチを“カシオコード”“フィンガード”“フルレンジコード”のいずれかに合わせ、コードの指定方法を選びます。

2 スタート/ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。

3 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。

- 伴奏鍵盤や具体的な方法については、モードスイッチの設定に応じて、
「カシオコードについて」……………28ページ
「フィンガードについて」……………29ページ
「フルレンジコードについて」……………30ページ
をご参考ください。



（実際に押さえている鍵盤と異なる場合があります。また、コードの種類によっては転回形を表示します。）

コード名

- 選んだリズムと連動したコード自動伴奏が始まります。

4 スタート/ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。

NOTE

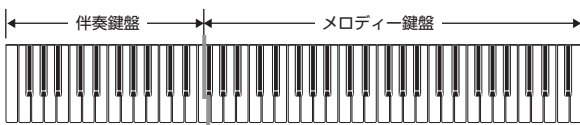
- 操作2でスタート/ストップボタンの代わりに、シンクロ/エンディングボタン、イントロボタンの順に押すと、操作3により前奏付きの伴奏が始まります。これらのボタンについて詳しくは、31、32ページを参照してください。
- 操作4でスタート/ストップボタンの代わりに、シンクロ/エンディングボタンを押すと、エンディングが鳴って伴奏が止まります。このボタンについて詳しくは、32ページを参照してください。
- 伴奏パートの音量は、全体の音量とは別に調節できます。詳しくは、42ページの「伴奏や内蔵曲の音量を変えるには」を参照してください。

カシオコードについて

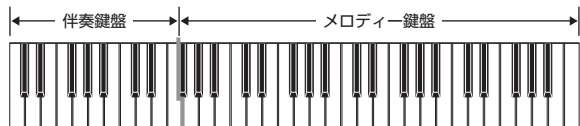
この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】

<WK-110>



<CTK-810>



重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、40ページの「スプリット機能を利用するには」を参照してください。

【コードの種類】

カシオコードでは最小限の指使いで以下の4種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C(Cメジャー) 音名→ C D E F G A B C D E F
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm(Cマイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7(Cセブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7(Cマイナーセブンス)

NOTE

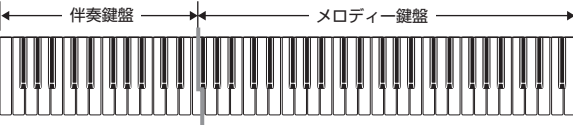
- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

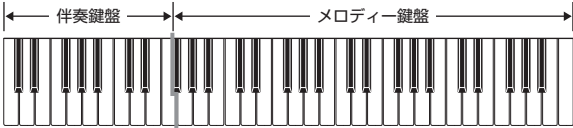
この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法（“C”を根音とした場合）は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】

<WK-110>



<CTK-810>



重要

- フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、40ページの「スプリット機能を利用するには」を参照してください。

<p>C(メジャー)</p> <p>ド ミ ソ</p>	<p>Cm(マイナー)</p> <p>ド ミ ソ</p>	<p>Cdim(ディミニッシュ)</p> <p>ド ミ ファ#</p>
<p>※1 Caug(オーギュメント)</p> <p>ド ミ ソ</p>	<p>Csus4(サスフォー)</p> <p>ド ファソ</p>	<p>※2 C7(セブンス)</p> <p>ド ミ ソ シ</p>
<p>※2 Cm7(マイナーセブンス)</p> <p>ド ミ ソ シ</p>	<p>※2 CM7(メジャーセブンス)</p> <p>ド ミ ソ シ</p>	<p>Cm7#5(マイナーセブンスフラットファイフ)</p> <p>ド ミ ファ# シ</p>
<p>※1 C7#5(セブンスフラットファイフ)</p> <p>ド ミ ファ# シ</p>	<p>C7sus4(セブンスサスフォー)</p> <p>ド ファソ シ</p>	<p>Cadd9(アドナインズ)</p> <p>ドレミ ソ</p>
<p>Cmadd9(マイナーアドナインズ)</p> <p>ドレミ ソ</p>	<p>※2 CmM7(マイナーメジャーセブンス)</p> <p>ド ミ ソ シ</p>	<p>※1 Cdim7(ディミニッシュセブンス)</p> <p>ド ミ ファ# ラ</p>

★ 根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(58ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

- ※1： 転回形(下のNOTEを参照)は使えません。最低音が根音となります。
- ※2： 5度のソの音を押さなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

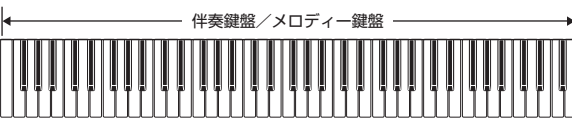
- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方(例えばCを「ドミソ」と押さえる)だけでなく、転回形(コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる)も有効です。
 - …※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
 - …※2のコードを除く。

フルレンジコードについて

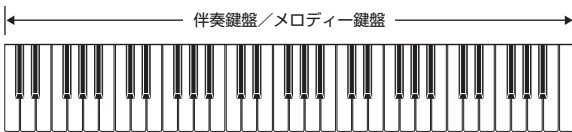
この方法で指定できるコードは、フィンガードの15種類に23種類加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を3つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外（本機が判別できないコードや2つ以下の鍵盤を押している場合）ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

【フルレンジコードの伴奏／メロディー鍵盤】

<WK-110>



<CTK-810>



《本機で判別できるコード》

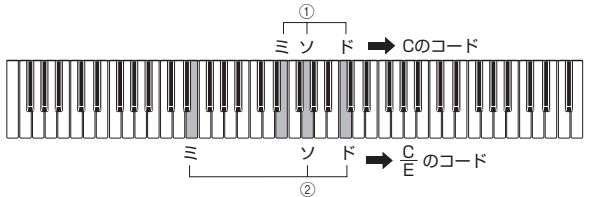
分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類 (29ページ「フィンガードについて」参照)
それ以外のコード	23種類 以下は、「C」をベース音とした場合の例です。 C ₆ , C _{m6} , C ₆₉ C [#] D E F G A ^b B ^b C、C、C、C、C、C、C、C、 B C ^{#m} D _m F _m G _m A _m B ^b _m C、C、C、C、C、C、C、C、 D _{dim} A ^b ₇ F ₇ F _{m7} G _{m7} A ^b _{add9} C、C、C、C、C、C、C

(例) Cメジャーの場合

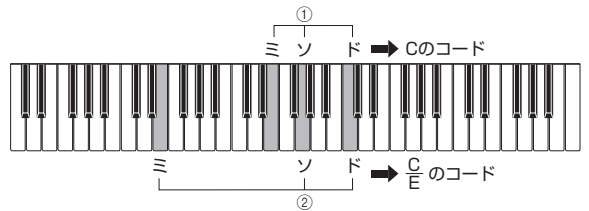
Cメジャーの構成音は、「ド・ミ・ソ」です。

鍵盤で「ド・ミ・ソ」と押さえると、下記のように指定されます。

<WK-110>



<CTK-810>



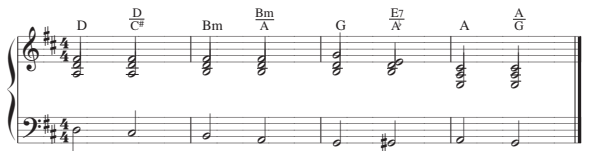
《ポイント》

- 転回形についてはフィンガードと同様です。(①)
- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。(②)

●フルレンジコードを使って演奏してみましょう

音色001、リズム102、テンポ070

シンクロ／エンディングボタンを押す。



イントロを入れるには

リズム演奏や自動伴奏を始める前にイントロ（前奏）を加えることができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- モードスイッチでコードの指定方法を選ぶ。

① イントロボタンを押します。

- 選んだリズムに応じたイントロを開始します。
- このとき伴奏鍵盤を弾くと、イントロに自動伴奏が加わります。

NOTE

- イントロが鳴り終わると通常のリズムに戻ります。
- イントロが鳴っているときに、バリエーション／フィルインボタンを押すと、イントロが鳴り終わってからバリエーションのリズムになります。

フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

① スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。

② ノーマル／フィルインボタンを押します。

- リズムにフィルインが入ります。

NOTE

- イントロが鳴っている最中にボタンを押しても、フィルインは鳴りません。

同じリズムで演奏パターンを変化させるには

通常のリズムと演奏パターンを異なるリズム（バリエーション）に切り替え、伴奏の雰囲気を変化させます。

① スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。

② バリエーション／フィルインボタンを押します。

- 選んだリズムのバリエーションに切り替わります。

NOTE

- 通常（ノーマル）のリズムに戻すには、ノーマル／フィルインボタンを押します。

バリエーションのリズムにフィルインを入れるには

バリエーションのリズムに変化を付けます。

① バリエーションのリズムが鳴っているときに、バリエーション／フィルインボタンを押します。

- バリエーションのリズムにフィルインが入ります。

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせる方法です。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

- 1 シンクロ／エンディングボタンを押してシンクロスタートの待機状態にします。



点滅

- 2 伴奏鍵盤でコードを指定します。

- リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

NOTE

- コードの指定方法をノーマルにしておくと、リズムのみが鳴り始めます。
- 鍵盤を押す前にイントロボタンを押しておくと、イントロからシンクロスタートします。
- 鍵盤を押す前にバリエーション／フィルインボタンを押しておくとバリエーションからシンクロスタートします。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロ／エンディングボタンを押すと待機状態が解除されます。

エンディングを付けて曲を終わらせるには

選ばれたリズムに最適なエンディングを加え、伴奏を自動的に停止します。

- 1 リズム（伴奏）が鳴っているときに、シンクロ／エンディングボタンを押します。

- リズムに応じたエンディングに切り替わり、リズム（伴奏）を終了します。

ワンタッチプリセットを使うには

ワンタッチプリセットとは、各リズムパターンごとに、そのリズムに良くマッチした音色やテンポ設定などを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

ワンタッチプリセットでは、次の設定がリズムパターンごとにあらかじめ設定されています。

- 鍵盤の音色
- レイヤー、スプリットまたはレイヤースプリットのオン／オフ
- レイヤー、スプリットまたはレイヤースプリットがオンの場合のその音色
- テンポ
- リバープ、コーラスの設定

ワンタッチプリセットの操作手順

- 1 リズムを選択します。
- 2 モードスイッチを使って、コードの指定方法を選択します。
- 3 ワンタッチプリセットボタンを押します。
 - 鍵盤の音色やテンポなどが、現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。
 - シンクロスタートの待機状態になります。
- 4 伴奏鍵盤でコードを指定します。
 - リズムとコード伴奏が同時にスタートします。
 - ワンタッチプリセットによる設定での演奏ができます。

レジストレーション機能を使ってみましょう

レジストレーション機能でできること

本機で演奏するとき、曲に応じて音色、リズムの種類、テンポなどの設定を行います。こうしたさまざまな設定を一括して登録（レジストレーション）しておいて、後からボタンひとつで呼び出せるようにすることができます。登録は32セット（4セット×8バンク）まで可能です。

登録できる内容

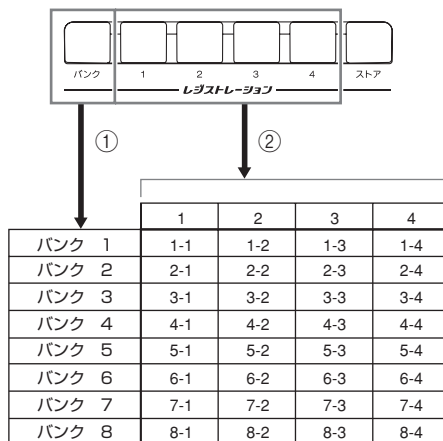
- 音色の選択
- リズムの選択
- テンポの設定
- レイヤーのオン/オフ
- スプリットのオン/オフ
- スプリットポイントの設定
- エフェクトの設定
- タッチレスポンスの設定
- アサインブルジャックの設定
- シンク口待機状態

NOTE

- レジストレーションの各バンクにはあらかじめデータが入っています。

登録の単位について

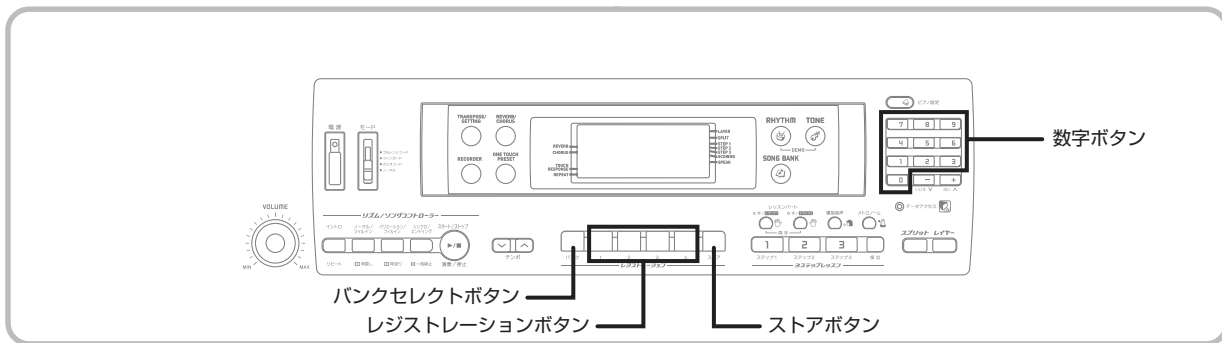
各種の設定は、バンクセレクトボタンと、1～4の4つのレジストレーションボタンを使って選べる32個のエリア（下表の1-1～8-4）に対して登録します。



- ① バンクセレクトボタンを押すごとに、バンク1からバンク8の間で切り替わります。
- ② 1～4のいずれかのレジストレーションボタンを押すと、現在選択されている側のバンクに対応したエリアを選択できます。

NOTE

- あるエリアに新しく登録した時点で、そのエリアの前の登録内容は消えます。



登録するには

- 1 本機の音色、リズムの選択や、各種の設定を行います。
●「登録できる内容」(33 ページ) を参照してください。
- 2 バンクセレクトボタンまたは数字ボタンを押して、登録したいバンクを選択します。
●ボタンを押してから3秒間そのままにしておくと、操作1に戻ります。
●バンク1を選択した場合

1- Bank

- 3 ストアボタンを押しながら、登録したいエリア(1~4)に対応したレジストレーションボタンを押し、登録します。
●2のボタンを押した場合

1-2 Store

- 4 レジストレーションボタンとストアボタンを離します。

NOTE

- 上記の操作3で登録エリアを確定した時点で、そのエリアに以前に登録されていた内容は、新しい内容で上書きされます。

登録した設定を呼び出すには

- 1 バンクセレクトボタンまたは数字ボタンを押して、呼び出したいバンクを選択します。
●ボタンを押してから3秒間そのままにしておくと、元の表示に戻ります。

1- Bank

- 2 呼び出したいエリア(1~4)に対応したレジストレーションボタンを押します。

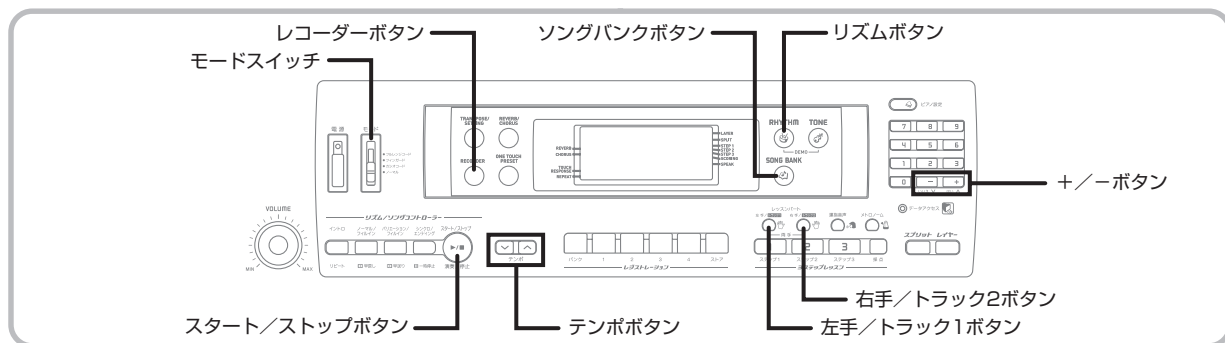
1-2 Recall

- 呼び出したエリアと“Recall”の文字が表示された後、音色またはリズム選択の画面に戻ります。

NOTE

- 上記の操作1を省略すると、以前に選択したバンクが自動的に選択されます。

演奏を録音してみましょう



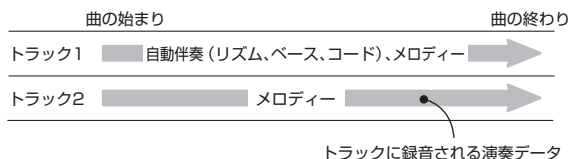
本機の録音機能には、レッスン機能で練習した成果を録音する「レッスンソング録音」と、鍵盤の演奏をそのまま録音したり自動伴奏を使って録音する「ユーザーソング録音」があります。

本機で録音できる内容とパート／トラックについて

「レッスンソング録音」と「ユーザーソング録音」で録音できる内容が異なります。

「レッスンソング録音」：右手、左手、両手のいずれかのパートを選んで録音できます。

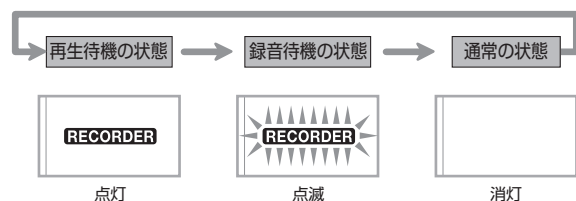
「ユーザーソング録音」：下図のように1曲に対して、異なる演奏内容を2つのトラックに重ねて録音できます。



- それぞれのトラックは独立しているので、弾き間違えて録音しても、そのトラックだけ録音し直すことができます。

レコーダーボタンの使い方

レコーダーボタンを、1回押すごとに以下のように状態が切り替わります。



録音できる長さ (メモリー容量)

録音機能で録音できる長さは、レッスンソング1曲、ユーザーソング1曲の2曲合わせて約12,000音符です。1曲で12,000音符を使いきってしまうと、2曲目は録音できません。

- 録音機能で使用するメモリー容量は、パソコンからダウンロードした曲データを保存するソングバンクエリアと共有しています。そのため、12,000音符まで録音できない場合があります。
- 録音中に録音できる音符が約100音符以下になると、レコーダーインジケーターと画面上のトラック／パートの表示 (L, R) が倍の速さで点滅します。
- 録音中にメモリーの容量がいっぱいになると、録音が自動的に終了します (自動伴奏やリズムを鳴らしているときは、その音も止まります)。

録音内容の保持について

- 新しく録音した時点で、以前の録音内容は消えてしまいます。
- 電池やACアダプターで電源を供給している間は、電源をオフにしても録音内容が保持されます。電池で利用しているときに電池を抜いたり、電池が消耗すると録音内容が消去されます。電池の交換は、ACアダプターを接続した状態で行うことをおすすめします。
- 録音中に電源が切れると、録音中のトラックの内容はすべて消去されます。

重要

- 録音内容の消失により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

練習の成果を録音してみましょう (レッスンソング録音)

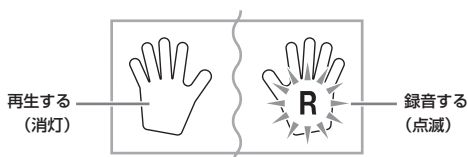
本機に内蔵されている曲を選んでレッスン機能で練習したパートを、録音して再生すれば、練習の成果を確認できます。レッスンソング録音を開始すると、選んだパート以外が鳴り、一方で選んだパートを画面上の鍵盤表示でガイドしてくれます。ガイドに合わせて弾いてみましょう。

パートの選択と画面表示の見方

左手パートを選ぶ場合は、左手/トラック1ボタンを押します。右手パートを選ぶ場合は、右手/トラック2ボタンを押します。選択状況は、画面表示のL、Rの文字表示で確認できます。

●録音待機の状態

録音したい方のボタンを押します。押したパートに対応する文字表示が点滅し、録音待機の状態になります。



例) 左手パートが再生され、右手パートが録音される場合

準備

- ソングバンクボタンを押して、録音に使う曲を選べるモードにしておきます。



- 1 レコーダーボタンを押して、録音待機の状態にします。
 - 画面のレコーダーインジケーターが点滅します。
- 2 ソングバンクの中から、録音する曲を選びます。
 - 曲の選び方については、18ページの「ソングバンクの曲を聴いてみましょう」を参照してください。
- 3 左手/トラック1ボタンまたは右手/トラック2ボタンを押して、録音するパートを選びます。
 - 両手パートを録音する場合は、2つのボタンを同時に押します。

- 4 必要に応じて、次の設定をしておきます。
 - 音色設定 (16 ページ)
 - テンポ設定 (19 ページ)

- 5 スタート/ストップボタンを押します。
 - 録音が始まります。

- 6 鍵盤で演奏します。

- 7 曲の演奏が終わると、自動的に録音を終了します。
 - 録音を中断する場合は、スタート/ストップボタンを押します。その場合、再生する時はそこまで録音した内容が再生されます。

★すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

レッスンソングで記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容が記録されます。

- 音色
- テンポ
- 曲
- 録音パート
- ペダル操作
- レイヤー、スプリットの設定とその音色
- リバーブ、コーラスの設定とそのタイプ

レッスンソング録音した演奏を聴いてみましょう

準備

- ソングバンクボタンを押して、録音に使う曲を選べるモードにしておきます。
- レコーダーボタンを押して、再生待機の状態にします。

- 1 スタート/ストップボタンを押します。
 - 録音された演奏内容を再生します。
 - テンポボタンでテンポを調節することもできます。
- 2 再生を止めるには、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

演奏をそのまま録音してみま しょう (ユーザーソング録音)

コード伴奏や鍵盤の演奏をそのまま録音してみましょう。

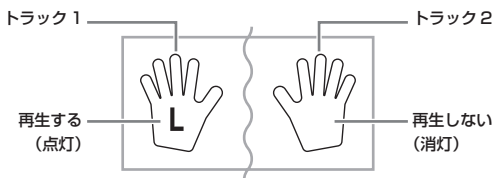
トラックの選択と画面表示の見方

トラック1を選ぶ場合は、左手/トラック1ボタンを押します。トラック2を選ぶ場合は、右手/トラック2ボタンを押します。選択状況は、画面表示のL、Rの文字表示で確認できます。

●再生待機の状態

ボタンを押すごとに各トラックを再生するか、再生しないかが切り替わります。

再生するトラックは対応する文字の表示が点灯し、再生しないトラックは消灯します。

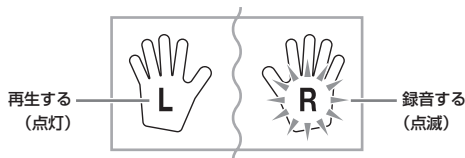


例) 上図は、トラック1が再生する、トラック2が再生しない状態に設定されている場合

●録音待機の状態

録音したい方のボタンを押します。押したトラックに対応する文字表示が点滅し、録音待機の状態になります。再生するトラックは点灯します。

トラックを選択していない状態で、トラックにデータがある場合はそのトラックの表示が点灯します。



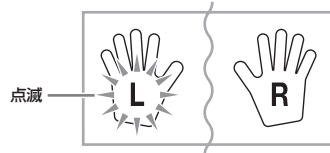
例) トラック1が再生され、トラック2が録音される場合

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。



- 1 レコーダーボタンを押して、録音待機の状態にします。
 - 画面のレコーダーインジケーターが点滅します。
- 2 左手/トラック1ボタンを押して、トラック1を選びます。
 - このとき録音するトラックは点滅します。



- 3 必要に応じて、次の設定をしておきます。

- 音色設定 (16 ページ)
- リズム設定 (26 ページ)
- モードスイッチ (27 ページ)

★ 速いテンポで弾くのが苦手な方は、テンポボタンを使ってあらかじめテンポを下げてください (19 ページ)。

- 4 スタート/ストップボタンを押します。

- 録音が始まります。

- 5 鍵盤で演奏します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定するとそのコードの自動伴奏がそのまま録音されます。またメロディー鍵盤を弾くと演奏がそのまま録音されます。
- 演奏中にペダルを利用している場合、ペダルの操作もそのまま録音されます。

- 6 演奏が終わったら、スタート/ストップボタンで録音を終了します。

- ★ 録音中に弾きまちがえたときは、操作1からやり直します。
- ★ すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

NOTE

- ユーザーソング録音で、すでに録音したトラックに再度録音する場合、以前録音されたデータが消えて新しいデータが上書きされます。

ユーザーソング録音でトラック1に記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容がトラックに記録され、録音時のまま再生されます。

- 音色番号
- リズム番号
- イントロボタン、シンクロ/エンディングボタン、ノーマル/フィルインボタン、バリエーション/フィルインボタンの操作
- ペダル操作
- レイヤー、スプリットの設定とその音色
- スプリットポイント
- テンポ
- リバース、コーラスの設定とそのタイプ

トラック1にユーザーソング録音する場合の応用例

● リズムなしで録音するには

操作4を省略します。

- 鍵盤を押すと同時に、リズムなしで演奏内容が録音されます。

● シンクロスタートで録音を始めるには

操作4の代わりにシンクロ/エンディングボタンを押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

● 前奏やエンディング、フィルインを入れて録音するには

録音中はイントロボタン、シンクロ/エンディングボタン、ノーマル/フィルインボタン、バリエーション/フィルインボタンが使用できます。

● シンクロスタートで前奏から録音を始めるには

操作4の代わりに、シンクロ/エンディングボタンとイントロボタンを続けて押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、コード伴奏付きの前奏と同時に録音がスタートします。

● 録音途中から自動伴奏をスタートさせるには

操作4の代わりにシンクロ/エンディングボタンを押し、メロディー鍵盤で演奏を始めます。

- 伴奏なしでメロディーの録音を開始します。録音の途中で伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏がスタートします。

ユーザーソング録音した演奏を聴いてみましょう

トラックに録音した演奏内容を再生してみましょう。

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。



- レコーダーボタンを押して、再生待機の状態にします。

1 スタート/ストップボタンを押します。

- 録音された演奏内容を再生します。再生時にトラック1ボタンやトラック2ボタンを押すことで、録音された伴奏やメロディーをそれぞれ消して聴くこともできます。
- テンポボタンでテンポを調節できます。

2 再生を止めるには、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

NOTE

- 録音した内容の再生中にはモードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤がすべてメロディー鍵盤となり、録音した演奏に合わせて弾くことができます。このときスプリットやレイヤー機能（40、41ページ参照）を使えば、異なる音色を鍵盤の左右で分けて弾いたり、異なる音を重ねて演奏することもできます。
- 録音した内容の再生では一時停止、早送り、早戻しの操作はできません。
- 本機は、録音した内容の再生時に、その録音情報をMIDI情報として送信します。

メロディーの演奏を重ねて録音してみましょう（ユーザーソング録音）

トラック1に録音した演奏に合わせて、トラック2にメロディーを重ねて録音してみましょう。

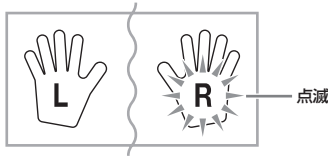
準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。



- レコーダーボタンを押して、録音待機の状態にします。

- 1 右手／トラック2ボタンを押して、トラック2を選びます。



- 2 必要に応じて次の設定を行います。

- 音色番号

★ 速いテンポで弾くのが苦手な方は、テンポボタンを使ってあらかじめテンポを下げてください。

- 3 スタート／ストップボタンを押します。

- トラック2の録音を開始します。
- トラック1は再生を始めます。

- 4 トラック1を聴きながら、メロディーを演奏します。

- 5 録音が終わったら、スタート／ストップボタンを押して録音を終了します。

★ 録音中に弾きまちがえたときは、操作1からやり直します。
★ すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度スタート／ストップボタンを押します。

NOTE

- トラック2はメロディー専用のトラックのため、コード伴奏は録音できません。このためトラック2に録音するときは、モードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤はすべてメロディー鍵盤になります。
- 録音済のトラックのメロディーを再生させないで録音したい場合は、あらかじめ、再生待機の状態です録音済のトラックを再生しない状態に設定してから録音待機の状態にして録音を開始してください。ただし、リズムや自動伴奏は消すことはできません。

ユーザーソング録音でトラック2に録音される内容

鍵盤の演奏以外にも以下の内容が録音されます。

- 音色番号
- ペダルの操作

特定のパート／トラックを消去するには

レッスンソング、ユーザーソング録音した特定のパート／トラックを消去することができます。

準備

<レッスンソング録音したパートを消去する場合>

- ソングバンクボタンを押しておきます。

<ユーザーソング録音したトラックを消去する場合>

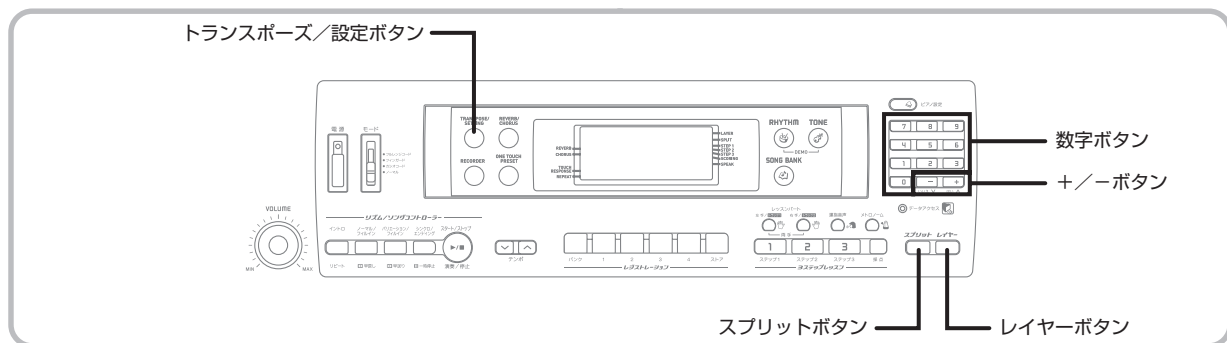
- リズムボタンを押しておきます。

- 1 レコーダーボタンを押して録音待機の状態にします。
- 2 左手／トラック1ボタンまたは右手／トラック2ボタンを押して、消去したいパート／トラックを選びます。
- 3 レコーダーボタンを押し続けます。
 - 消去して良いかを確認するメッセージが表示されます。
 - 消去を中止する場合は、-ボタン（はいえ）を押します。
- 4 消去して良い場合は、+ボタン（はい）を押します。
 - 消去が実行され、再生待機の状態になります。

NOTE

- トラック／パートを消去する状態でレコーダーボタンを押すと、録音待機の状態に戻ります。

設定を変えてみましょう



本機では、鍵盤の設定を変更することで2種類の音色を重ねて鍵盤で演奏したり、鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てて演奏するなど、幅広い演奏方法を楽しむことができます。

レイヤー機能を利用するには

レイヤー機能とは、2種類の音色を重ねて演奏するための機能です。この機能を利用すれば内蔵音色の中から2つの音色（メイン音色とレイヤー音色）を選んで同時に発音させることで、まったく新しいサウンドを作ることができます。例えばブラスの音色にフレンチホルンの音色を重ねれば、厚みのあるブラスサウンドで鍵盤演奏が楽しめます。

1 メイン音色を指定します。

例：“180 ブラス (BRASS)” の音色を指定する場合は、トーンボタンを押し、数字ボタンで“1→8→0”と入力します。



2 レイヤーボタンを押します。



3 レイヤー音色を指定します。

例：“178 フレンチホルン (FRENCH HORN)” の音色を重ねる場合は、数字ボタンで“1→7→8”と入力します。



4 鍵盤を弾いてみましょう。

- ブラスとフレンチホルンが同時に鳴ります。

5 レイヤーボタンを押すと通常の状態に戻ります。

例：WK-110



スプリット機能を利用するには

スプリット機能とは、2つの音色を鍵盤の高音部と低音部に分ける機能です。両手で鍵盤を演奏するとき、この機能で鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てれば、2種類の楽器を左右に分けて演奏できます。例えば低音部にピチカート、高音部にストリングスを割り当てることで、ストリングスアンサンブルを弾き分けることができます。

1 メイン音色（高音部の音色）を指定します。

例：“146 ストリングス (STRINGS)” の音色を指定する場合は、トーンボタンを押し、数字ボタンで“1→4→6”と入力します。



2 スプリットボタンを押します。



3 スプリット音色（低音部）を指定します。

例：“134 ピチカート (PIZZICATO STRINGS)” の音色で鍵盤を分けたい場合は、数字ボタンで“1→3→4”と入力します。



4 低音部と高音部の境目（スプリットポイント）を指定します。

例：F#3 と G3 の鍵盤で分ける場合は、スプリットボタンを押しながら G3 の鍵を弾きます。

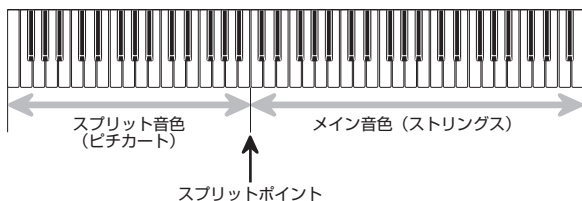


5 鍵盤を弾いてみましょう。

●F#3より下の鍵盤でピチカートの音色が鳴り、G3から上の鍵盤でストリングスの音色が鳴ります。

6 もう一度スプリットボタンを押すと、通常の状態に戻ります。

例：WK-110



レイヤーとスプリットを同時に使うには

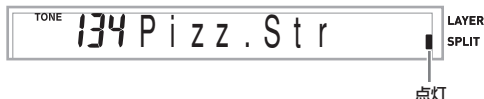
レイヤーの状態からスプリットボタンを押すか、スプリットの状態からレイヤーボタンを押すと、それぞれの機能の特徴を兼ね備えた「レイヤースプリット」という状態で利用できます。これは、2種類のレイヤーサウンドが鍵盤の高音部（メイン音色+レイヤー音色）と低音部（スプリット音色+レイヤースプリット音色）で発音します。

1 メイン音色を指定します。

例：メイン音色が“180 プラス (BRASS)” の場合



2 スプリット機能を使ってスプリット音色を指定します。



●指定後は、スプリットを解除しておきます。

3 レイヤー機能を使ってレイヤー音色を指定します。

例：レイヤー音色が“178 フレンチホルン (FRENCH HORN)”、スプリット音色が“134 ピチカート (PIZZICATO STRINGS)” の場合



4 スプリットの状態からレイヤーボタン、またはレイヤーの状態からスプリットボタンを押して、レイヤースプリットの状態にします。

5 レイヤースプリット音色を指定します。

例：“146 ストリングス (STRINGS)” の音色を指定する場合は、数字ボタンで“1→4→6”と入力します。



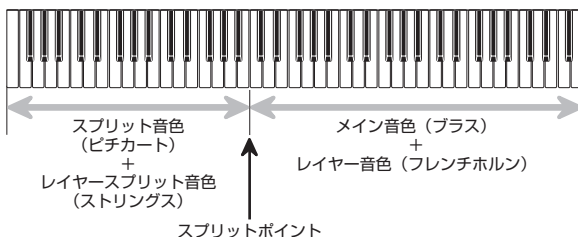
6 スプリットポイントを指定します。

例：F4の鍵盤で分ける場合は、スプリットボタンを押しながらF4の鍵を押します。

7 鍵盤を弾いてみましょう。

●レイヤーボタンとスプリットボタンを押すと通常の状態に戻ります。

例：WK-110



トランスポーズ／設定ボタンについて

通常の状態からトランスポーズ／設定ボタンを押すことで、タッチレスポンスやチューニングを設定する画面に切り替えられます。画面の中にはMIDIを使うためのさまざまな機能の画面(46～48ページ)も含まれており、トランスポーズ／設定ボタンを押すたびにそれぞれの画面が順番に切り替わり、最後に通常の状態に戻ります。呼び出したい画面を行き過ぎた場合は、再度その画面が表示されるまでトランスポーズ／設定ボタンを押してください。

トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのままで、簡単に音の高さを変えることができます。

- 1 トランスポーズ／設定ボタンを押して、トランスポーズの設定画面にします。



- 2 +／-ボタンまたは数字ボタンで音の高さを設定します。

例：5半音上にトランスポーズさせる場合。



NOTE

- トランスポーズの設定範囲は-12(1オクターブ下)～+12(1オクターブ上)です。
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、メモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。
- 操作2で+ボタンと-ボタンを同時に押すと、“00”になります。
- 出る音の高さは、音色によって異なります。トランスポーズの結果、その音色域よりも高くなった範囲あるいは低くなった範囲は、同じ音色で一番近い発音域内の音(オクターブ違い)に置きかわります。

伴奏や内蔵曲の音量を変えるには

伴奏パートや内蔵曲の音量を通常の演奏とは独立して調節できます。伴奏の音量の範囲は、最小“000”～最大“127”です。

- 1 トランスポーズ／設定ボタンを押して、伴奏の音量の設定画面にします。



伴奏の音量

- 2 +／-ボタンまたは数字ボタンで伴奏の音量を指定します。

例：110



※ 内蔵曲については、NOTEを参照してください。

NOTE

- 操作1の後、表示は5秒で元に戻ります。
- ソングバンクモードでは、同じ操作で曲の音量を設定できます。画面の表示は「Song Vol」に変わります。

タッチレスポンス機能を利用するには

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を弾く強弱で音量を変化させるかどうか決める機能です。タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量が変化します。

タッチレスポンスは以下の3種類から設定できます。

- OFF (オフ) : タッチレスポンス機能が解除された状態です。鍵盤を弾く強さに関わらず、音の大きさが一定になります。
- 1 : 通常のピアノ演奏に適した感度のタッチレスポンスがかかります。
- 2 : "1" の場合よりも、より大きな音が出しやすいようになります。

- 1 トランスポーズ/設定ボタンを押して、タッチレスポンスの設定画面にします。

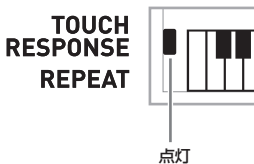


- 2 +/−ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例 : 2 に変更します。



- タッチレスポンス機能がオンの場合。



- タッチレスポンス機能がオフの場合。



NOTE

- 本機に録音した内容の再生や、伴奏、USB端子からのMIDIノート情報は、タッチレスポンス機能の設定に影響されません。

チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

- 1 トランスポーズ/設定ボタンを押してチューニングの設定画面にします。



- 2 +/−ボタンまたは数字ボタンでチューニングの量を調節します。

例 : チューニングを20下げの場合。



NOTE

- チューニングの設定範囲は−50〜+50で、±約50セント*です。
※100セント=半音
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- チューニングの設定は、録音機能や自動伴奏の演奏にも反映します。
- 操作2で+ボタンと−ボタンを同時に押すと、“00”になります。

パソコンとの接続について

本機のUSB端子を使えば、パソコンと簡単に接続できます。同梱のCD-ROM内のUSB MIDIドライバをご自分のパソコンにインストールすれば、市販のパソコン用MIDIソフトウェアによるパソコンと電子楽器のMIDI情報の送受信がUSBポートを介して行えます。

USB MIDIドライバをインストールするには

1 USB端子を備えたパソコンに、USB MIDIドライバをインストールしておきます。

- USB MIDIドライバのインストール方法については、「USBマニュアル/ドライバ CD-ROM」の中にある「CASIO USB MIDIドライバマニュアル (manual.pdf)」を参照してください。

NOTE

- USB MIDIドライバをインストールする前に、「USBマニュアル/ドライバ CD-ROM」のreadme.txtを必ずお読みください。
 - Adobe ReaderもしくはAcrobat Readerを用いて、CASIO USB MIDIドライバマニュアル*1を参照します。
- ※ 1 「CASIO USB MIDIドライバマニュアル(manual.pdf)」を参照するためには、ご使用のパソコンにAdobe ReaderもしくはAcrobat Readerが事前にインストールされている必要があります。いずれもインストールされていない場合は、以下の手順にしたがってインストールしてください。

Adobe Reader (Acrobat Reader*2) のインストール方法

- 「USBマニュアル/ドライバ CD-ROM」を、お使いのパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。
- CD-ROMの中のAdobeフォルダの中の「ar601jpn.exe」(「ar505jpn.exe」*2)をダブルクリックし、表示される説明にしたがってインストールします。

- ※ 2 Adobe Readerは、Windows 98にはインストールできません。Windows 98をご使用の方は、「ar505jpn.exe」をダブルクリックしてAcrobat Readerをインストールしてください。

動作環境

ドライバ対応 OS

Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® Me、Windows® 98SE、Windows® 98に対応します。

ドライバ動作環境

ドライバは、以下の環境で動作します。

● 共通条件

- IBM AT およびその互換機
- USBポートを装備し、Windows上で正常に動作していること
- CD-ROMドライブを装備(インストール時に使用)
- ハードディスクの残り容量2MB以上
(Adobe Reader分は含まず)

● Windows XPでの条件

- Pentium 300MHz以上
- メモリ 128MB以上

● Windows 2000での条件

- Pentium 166MHz以上
- メモリ 64MB以上

● Windows Me、Windows 98SE、Windows 98での条件

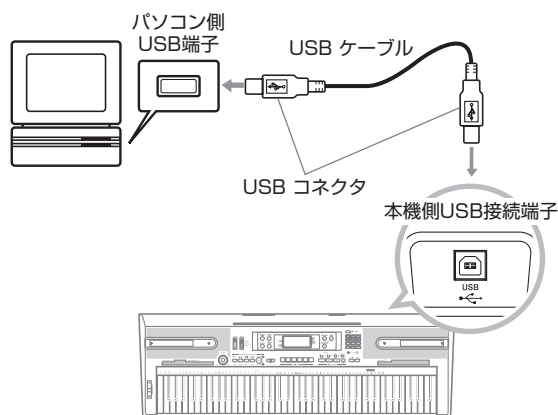
- Pentium 166MHz以上
- メモリ 32MB以上

USB端子での接続

USB端子を備えたパソコンと本機のUSB接続端子を接続するには、市販のUSBケーブルが必要です。

接続方法

- 1 市販のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。



重要

データアクセスランプについて

- 本機とパソコンをUSBケーブルでつないで、曲データをパソコンから本機のソングバンクへ送信しているときには、データアクセスランプが点滅します。データアクセスランプが点滅しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

ソングバンクの曲を増やすには

パソコンからダウンロードした曲データを本機のソングバンク（101～105番：最大5曲）へ保存して、内蔵曲と同じように再生したり、練習したりできます。

ご自身で購入／作成したSMF形式のデータを、付属のCD-ROMに入っているカシオ専用のSMF変換ソフト（SMFコンバーター）を使ってカシオフォーマットに変換し、本機へ送信して保存します。

SMF変換ソフト（SMFコンバーター）をインストールするには

- 1 USB端子を備えたパソコンに、付属のCD-ROMの中にあるSMF変換ソフト（SMFコンバーター）をインストールします。
 - CD-ROMの中の“SMFConv-j.exe”をダブルクリックし、表示される説明にしたがってインストールします。
- インストールの前に必ず、CD-ROMの中の各言語フォルダの“smfreadme.txt”をお読み下さい。

SMFコンバーターのご使用方法については、SMFコンバーターをインストールしたフォルダ内にある「help」フォルダの「index.html」又は、スタートメニューから「プログラム」-「CASIO」-「SMF Converter」-「manual」をクリックしてご参照ください。

- マニュアルをみる場合は、Internet Explorer 4またはNetscape Navigator 4.04以上のフレーム対応ブラウザでお読みください。

動作環境

●対応 OS

Windows 98SE
Windows Me
Windows XP Home Edition/XP Professional

●条件

ハードディスクの残り容量 10MB 以上

●USB インターフェース

なお、下記のカシオホームページからもSMF変換ソフトを入手できます。

カシオ・ミュージック・サイト
<http://music.casio.co.jp/>

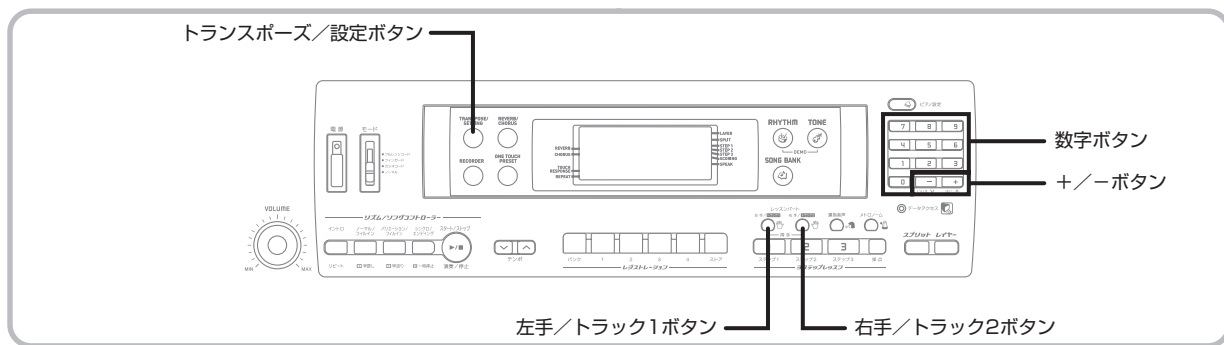
- 各ソフトのインストール方法や使い方、曲データの購入方法、本機との接続などの詳細、最新情報についても、あわせて上記ホームページでご確認ください。

曲データの保存について

本機のソングバンクに保存した曲データは、本機への電源供給が続いている限り保たれます。電池を入れずにACアダプターを抜いたり、ACアダプターを接続していない状態で電池を入れ替えたり電池が消耗した場合などで、本機への電源供給が絶たれると、曲データは消去されます。電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

NOTE

- 本機はSMFフォーマット0、1に対応しています。
- ご自身で購入／作成したSMF形式のデータは、本機の運指音声、連指表示、採点機能時の音声に対応しておりません。



付属のCD-ROMに入っているSMFデータについて

付属のCD-ROMにはデモやステップレッスンができるSMFデータが25曲入っています。
またその曲の楽譜もPDF形式ファイルが入っています。

曲データの内容については、CD-ROM内“MusicDataFolder”の中の“List.txt”をご覧ください。

“List.txt”には曲名、SMFファイル名、楽譜PDFファイル名、レッスンできるパート（下記参照）がそれぞれ記載されています。

「※」記号のついている曲：両手レッスン

「※」記号の無い曲：右手レッスン

NOTE

- CD-ROM内のSMFを本体に転送するには、SMFコンバータツールを使います。詳しくは、前項目を参照してください。
- 楽譜PDFファイルを参照するためには、ご使用のパソコンにAdobe ReaderもしくはAcrobat Readerが事前にインストールされている必要があります。いずれもインストールされていない場合は、44 ページの「Adobe Reader (Acrobat Reader) のインストール方法」を参照してください。

GMについて

GMの規格では、音色の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能なMIDIチャンネル数など、音源部分の仕組みについて決められています。このため、GM音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも、比較的同系統の音色、同じニュアンスで再生することができます。

本機の音源部分はGM規格に対応していますので、市販のGM対応データやパソコン通信などで流通しているGM対応データを、パソコンなどの外部機器と接続することで再生することができます。

設定を変えるには

本機は、単体で楽しむだけでなく、外部のシーケンサーやシンセサイザーなどと組み合わせ、市販のGM対応データを再生したり同時に演奏することができます。

キーボードチャンネルの設定（初期値：1）

キーボードチャンネルとはキーボードのメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルのことです。キーボードチャンネルは1～16のチャンネルの中から1つ指定します。

- 1 トランスポーズ/設定ボタンを押して、キーボードチャンネルの設定画面にします。

01 Keybd Ch

- 2 +/-ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：チャンネル4をキーボードチャンネルに設定します。

04 Keybd Ch

ナビゲートチャンネルの設定 (初期値: 4)

ナビゲートチャンネルとは、メッセージを受信し本機で演奏したときに、音符情報を本機の液晶画面で表示させるチャンネルのことです。ナビゲートチャンネルは1~16のチャンネルの中から選びます。市販のデータの好きなパートを画面で表示させて、弾き方を研究するのに便利です。

- 1 トランスポーズ/設定ボタンを押して、ナビゲートチャンネルの設定画面にします。

04 Navi. Ch

- 2 +/− ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例: チャンネル2をナビゲートチャンネルに設定します。

02 Navi. Ch

●受信中のデータ再生中に任意の音をオフにするには
《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルのオン/オフ》

- 1 データ再生中に右手/トラック2ボタンを押します。
 - ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの音は消えますが、画面の鍵盤表示部は送られてくるデータ通りに点灯します。オンにするには再度押します。

《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの−1チャンネルのオン/オフ》

- 1 データ再生中に左手/トラック1ボタンを押します。
 - ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの−1チャンネルの音が消えます。画面の鍵盤表示部は−1チャンネルのデータが点灯します。オンに戻すには再度押します。
 - 例: ナビゲートチャンネル:4Chの場合→3Chの音が消えます。

ローカルコントロール オン/オフの設定 (初期値: オン)

●ローカルコントロールがオフ (oFF) の場合:
鍵盤による演奏情報は、USB 端子からメッセージとして送られますが、本体の音源は発音しません。パソコンなどの外部機器側のMIDIスルー機能を利用するときはオフにして使用してください。

NOTE

- 本機を単体でご使用になるときにローカルコントロールをオフにすると、鍵盤を弾いても音が出なくなりますのでご注意ください。

- 1 トランスポーズ/設定ボタンを押して、ローカルコントロール オン/オフの設定画面にします。
例: ローカルコントロールはオンの状態です。

on Local

- 2 +/− ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。
例: ローカルコントロールをオフにします。

oFF Local

アンプアウト オン/オフの設定 (初期値: オフ)

- アンプアウトがオン (on) の場合:
自動伴奏を鳴らしたとき、そのメッセージをUSB 端子から送信します。
- アンプアウトがオフ (oFF) の場合:
自動伴奏を鳴らしたとき、そのメッセージはUSB 端子から送信されません。

- 1 トランスポーズ/設定ボタンを押して、アンプアウト オン/オフの設定画面にします。
例: アンプアウトはオフの状態です。

oFF AcompOut

- 2 +/− ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。
例: アンプアウトをオンにします。

on AcompOut

サスティン／アサインブル端子の設定 (初期値：SUS)

フットペダルの機能を設定します。

- **サスティン (SUS) を選んだ場合：**
ペダルを踏むとサスティン効果*¹がかかります。
- **ソステヌート (SoS) を選んだ場合：**
ペダルを踏むとソステヌート効果*²がかかります。
- **ソフト (SFt) を選んだ場合：**
ペダルを踏むとその時に弾いた音が小さくなります。
- **リズム (rHy) を選んだ場合：**
ペダル操作でスタート／ストップボタンと同じ動きをします。

1 トランスポーズ／設定ボタンを押して、サスティン／アサインブル端子の設定画面にします。

例：サスティン／アサインブル端子はサスティンが選ばれています。

SUS Jack

2 + / - ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：リズムに変更します。

rHy Jack

※ 1 サスティン効果

ピアノなどの減衰系の音色ではダンパーペダルと同じように鍵盤で弾いた音に余韻が残り、オルガンなどの持続音ではペダルを離すまで鍵盤で弾いた音が鳴り続けます。なお、どちらの場合でもペダルを踏んでいる間に弾き直した音に対しても効果があります。

※ 2 ソステヌート効果

ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音のみ、サスティン効果と同じ効果がつきます。ペダルを押している間に弾き直した音には効果がありません。

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

- **保証期間中は**
保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。
 - 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
 - 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただきますこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> 電源が正しくセットされていない。 電源が入っていない。 音量が下がっている。 モードスイッチが“カシオコード”や“フィンガード”の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。 ローカルコントロールがオフになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕ ⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 電源ボタンを押す。 音量つまみを上げる。 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。 トランスポーズ/設定ボタンから、ローカルコントロールをオンにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 12ページ ☞ 16ページ ☞ 16ページ ☞ 27ページ ☞ 47ページ
電池で使用していて、下記の状態になった。	電池が消耗している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	☞ 12ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプが暗くなった。 ● 電源が入らなくなった。 ● 液晶表示がうすくなったり、ちらついたり ● 音量が小さくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音質が劣化した。 ● 大きな音を出す時々音が途切れる。 ● 大きな音を出す突然電源が切れる。 ● 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鍵盤を押していないのに音が出続ける。 ● 指定の音色とは異なる音を発音する。 ● リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。 	
自動伴奏の音が鳴らない。	伴奏の音量が“000”になっている。	トランスポーズ/設定ボタンを使って伴奏の音量を上げる。	☞ 42ページ
鍵盤を強く強弱で音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	トランスポーズ/設定ボタンを使ってオンの状態にする。	☞ 43ページ
液晶画面の鍵盤表示が点灯したままになっている。	ステップ1または2で正しい鍵盤が押されているのを待っている状態。	<ol style="list-style-type: none"> 点灯している鍵盤を押して、ステップ1または2での演奏を続ける。 演奏/停止ボタンでステップ1または2での演奏を中止する。 	☞ 23, 24ページ
他の楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が“00”以外になっている。	トランスポーズ/設定ボタンでトランスポーズとチューニングの設定を“00”にする。	☞ 42, 43ページ
自動伴奏やリズムが録音できない。	録音トラックにトラック2を指定している(トラック2はメロディー専用トラックです)。	録音待機の状態からトラック指定ボタンでトラック1を選ぶ。	☞ 37ページ
コード伴奏の演奏情報をパソコンに録音できない。	アカンブアウトがオフになっている。	トランスポーズ/設定ボタンでアカンブアウトをオンにする。	☞ 47ページ
パソコンから送信中の曲データが、再生の途中で止まってしまった。	USBケーブルや電源コードからのノイズ混入により、パソコンと本機の通信が途切れた。	曲の再生を停止し、本機とUSBケーブルを一度接続し直した後、再び曲を再生させる。それでも動かない場合は、使用中のMIDIソフトウェアを一度終了させ、本機とUSBケーブルを一度接続し直した後、MIDIソフトウェアを再起動させて、曲を再生させる。	☞ 44ページ
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	デジタルサンプリングという電子処理*によって発生する音域の境目で、故障ではありません。 *元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。		

トーンリスト

① No.

② 音色名

③ プログラムチェンジ

④ バンクセレクトMSB

⑤ 最大同時発音数

⑥ 音域タイプ

①	②	③	④	⑤	⑥
ピアノ					
001	ステレオグラウンドピアノ	0	2	16	A
002	クランドピアノ	0	1	32	A
003	プラトピアノ	1	2	16	A
004	モーピアノ	0	3	16	A
005	モダンピアノ	1	3	16	A
006	ダンスピアノ	0	1	16	A
007	ストリングスピアノ	0	8	16	A
008	シンセストリングスピアノ	1	5	16	A
009	ホンキートンク	3	2	16	A
010	1オクターブピアノ	3	9	16	A
011	2オクターブピアノ	3	8	16	A
012	エレクトリックグラウンドピアノ	2	2	16	A
013	モダンエレクトリックグラウンド	2	3	16	A
014	ステレオピアノ	0	4	16	A
015	ステレオピアノワイド	0	9	16	A
016	ピアノパッド	0	5	16	A
017	ハーブシコード	6	2	32	A
018	カブツルハープシコード	6	8	16	A
019	ハーブシコードパッド	6	1	16	A
エレクトリックピアノ					
020	エレクトリックピアノ1	4	2	32	A
021	エレクトリックピアノ2	5	3	16	A
022	FMEレクトリックピアノ	5	5	16	A
023	ダイナミックエレクトリックピアノ	4	7	32	A
024	60'sエレクトリックピアノ	4	5	32	A
025	コーラスエレピ1	4	9	16	A
026	コーラスエレピ2	4	6	16	A
027	モダンエレクトリックピアノ	5	2	16	A
028	ソフトエレクトリックピアノ	4	8	16	A
029	エレピパッド1	5	8	16	A
030	シンセストリングスエレピ	4	3	16	A
031	エレピパッド2	4	1	16	A
032	クリーンエレピ	4	4	32	A
033	ハーブシコードエレピ	5	4	16	A
034	クラブ	7	2	32	A
035	ソフトクラブ	7	1	32	A
036	クラブ&ドローパー	7	3	16	A
037	デチューンクラブ	7	8	16	A
038	シーケンスクラブ	7	9	16	A
クロマチックパーカッション					
039	チェレスタ	8	2	32	A
040	グロッケンシュピール	9	2	32	B
041	ミュージックボックス	10	2	16	A
042	ピアノフォン	11	2	32	A
043	マリナー	12	2	32	A
044	グロッケンシュピールパッド	9	3	16	A
045	シンセピアノフォン	11	3	16	A
046	シンセマリナー	12	3	16	A

①	②	③	④	⑤	⑥
047	ピラフォン&マリナー	13	2	16	A
048	チューブラーベル	14	2	16	A
049	ダルシマー	15	2	16	A
050	プラトチェレスタ	8	1	32	A
051	コーラスチェレスタ	8	8	16	A
052	コーラスグロッケンシュピール	9	8	16	B
053	コーラスピラフォン	11	8	16	A
オルガン					
054	ドローパーオルガン1	16	2	16	A
055	ドローパーオルガン2	16	1	16	A
056	ドローパーオルガン3	16	3	16	A
057	ロータリードローパー	17	32	32	A
058	パーカッシブオルガン1	17	2	16	A
059	パーカッシブオルガン2	17	3	16	A
060	エレクトリックオルガン1	16	8	16	A
061	エレクトリックオルガン2	16	4	16	A
062	ジャズオルガン1	17	4	16	A
063	ロックオルガン1	18	2	16	A
064	チャチャオルガン	19	2	16	A
065	チャペルオルガン	19	8	32	A
066	リードオルガン	20	2	16	A
067	アコチオン1	21	2	16	A
068	オクターブアコチオン	21	8	16	A
069	バンドネオン	23	2	16	A
070	ハーモニカ1	22	2	32	A
071	ハーモニカ2	22	8	16	A
072	シアター	19	6	16	A
073	オクターブバンドネオン	23	3	16	A
074	ドローパーオルガン4	16	5	16	A
075	ジャズオルガン2	17	6	16	A
076	ロックオルガン2	18	1	16	A
077	ドローパーオルガン5	16	6	16	A
078	ジャズオルガン3	17	8	16	A
079	パーカッシブオルガン3	17	1	16	A
080	8オルガン	17	5	16	A
081	ロックオルガン3	18	3	16	A
082	ロックオルガン4	18	4	16	A
083	フルドローパー	16	9	32	A
084	オルガンパッド	7	7	16	A
085	シーケンスオルガン	7	16	16	A
086	パイプオルガン1	19	1	32	A
087	パイプオルガン2	19	3	32	A
088	オルガン&ハーブシコード	19	4	16	A
089	パイプオルガンパッド	19	5	16	A
090	アコチオン2	21	3	32	A
091	バンドネオン2	23	1	16	A
092	バンドネオン&パイプオル	23	4	16	A
093	ナイロンストリングスギター	24	2	32	C

①	②	③	④	⑤	⑥
094	スチールストリングスギター-1	25	2	32	C
095	スチールストリングスギター-2	25	4	32	C
096	12弦ギター	25	8	16	C
097	ジャズギター	26	2	32	C
098	オクターブジャズギター	26	8	16	C
099	クリーンギター-1	27	2	32	C
100	クリーンギター-2	27	3	32	C
101	ミュートギター	28	2	32	C
102	クランチエレクトリックギター	27	8	16	C
103	オーバードライブギター	29	2	32	C
104	ディレイションギター	30	2	32	C
105	ワウディレイションギター	30	5	16	C
106	リズムディレイションギター	30	4	16	C
107	ワイアドバックギター	31	8	16	C
108	コーラスチーブルギター	25	9	16	C
109	ディレイションギター-8ベース	30	6	16	C
110	スチールギター-ハーモニクス	25	3	16	C
ベース					
111	アコースティックベース	32	2	32	C
112	ライドベース	32	32	16	C
113	フィンガーベース	33	2	32	C
114	ピックベース	34	2	32	C
115	フレットレスベース	35	2	32	C
116	スラップベース	37	2	32	C
117	ダブルストリングスベース	37	3	16	C
118	ソーシネベース	38	2	32	C
119	スクエアアシネベース	39	2	32	C
120	ボコーダーベース	38	3	32	C
121	デジロックベース	39	1	32	C
122	ソウルシンセベース	38	1	16	C
123	トランスベース	38	4	32	C
124	モーフィンガーベース	33	3	32	C
125	ベース&キック	39	4	16	C
126	クラブベース	39	3	16	C
127	リズムピッキングベース	34	3	32	C
128	リズムフィンガーベース	33	4	32	C
129	サイネベース	39	6	32	A
130	オルガンベース	39	5	32	A
ストリングス/オーケストラ					
131	バイオリン	40	2	32	A
132	スローバイオリン	40	8	32	A
133	チェロ	42	2	32	C
134	ピチカート	45	2	32	A
135	ハーブ1	46	2	32	A
136	ダブルバイオリン	40	1	16	A
137	スローチェロ	42	8	32	C
138	バイオリンセクショ	40	4	16	A
139	スローバイオリンセクショ	40	9	16	A
140	ピチカートアンサンブル	45	1	16	A

①	②	③	④	⑤	⑥
247	カリオペ1			82	2 16 A
248	ペントリード			82	5 16 A
249	チフロード1			83	2 16 A
250	トロップリード			83	4 16 A
251	エレブリード			83	1 16 A
252	ボイスリード1			85	2 16 A
253	ベースリード			87	2 16 A
254	スクエアリード2			80	3 16 A
255	スクエアリード			80	4 16 A
256	クロスクエリアリス			80	6 16 A
257	シーケンススクエア			80	7 16 A
258	シーケンスリリス1			80	16 16 A
259	スクエアリード3			80	1 32 A
260	スクエアリード4			80	32 16 A
261	ソートウズリード2			81	1 32 A
262	スローソソリード			81	4 16 A
263	バルスソソリード			81	5 16 A
264	スローソソリリス			81	6 16 A
265	フィフスシーケンス			86	1 16 A
266	シーケンスリリス2			81	9 16 A
267	シーケンスソートウズ2			81	16 16 A
268	カリオペ2			82	3 16 A
269	ペントシンセ			82	1 16 A
270	ピュアリード			82	4 16 A
271	デュエートーションリード			84	8 16 A
272	オクターブチャラン			84	2 16 A
273	ボクスリード2			85	3 16 A
274	チャーチリード			85	4 16 A
275	ダブルボイスリード			85	8 16 A
276	ボイスクワイアリード			85	5 16 A
277	エレ&ボイスリード			85	7 16 A
278	シンセボイスリード			86	2 16 A
279	フィフスソソリード			86	2 16 A
280	フィフススクエアリード			86	3 16 A
281	ベースソソリード			87	1 16 A
282	シンセベースリード			87	3 16 A
シンセパッド					
283	ファンタジー1			88	2 16 A
284	ファンタジー2			88	3 16 A
285	ウォードパッド			89	2 16 A
286	ウォームボイス			89	8 16 A
287	サインパッド			89	3 16 A
288	ポリシンセ1			90	2 16 A
289	ポリソートウズ			90	8 16 A
290	ポリシンセパッド1			90	5 16 A
291	スペースストリングスパッド			91	3 16 A
292	ボクパッド			92	2 16 A
293	グラスパッド			92	3 16 A
294	エスニックパッド			93	2 16 A
295	ヘイロパッド1			94	2 16 A
296	ヘイロパッド2			94	3 16 A
297	レイアウトロップ1			96	2 16 A
298	サウンドトラック1			97	2 16 A
299	レイブ			97	8 16 A
300	クリスマス			98	2 32 A

①	②	③	④	⑤	⑥
194	チューバ2			58	3 32 C
195	フレンチホルンソロ			60	8 32 C
196	クロスブラ			61	1 32 A
197	アナログシンセブラス2			62	9 16 A
198	シンセブラスパッド			63	3 16 A
リード/パイプ					
199	ソプラノサククス			64	2 32 A
200	アルトサククス1			65	1 16 C
201	アルトサククス2			65	2 32 C
202	プレッシャーアルトサククス			65	8 16 C
203	ハードアルトサククス			65	3 16 C
204	リッチアルトサククス			65	6 16 C
205	テナーサククス1			66	1 16 C
206	テナーサククス2			66	2 32 C
207	プレッシャーテナーサククス			66	8 16 C
208	テナーサククス			66	9 16 C
209	バリトンサククス			67	2 32 C
210	オーボエ			68	2 32 A
211	クラリネット			71	2 32 A
212	プレッシャーソプラノサククス			64	8 16 A
213	ソプラノアルトサククス			65	5 32 C
214	ソプラノサククス			65	4 32 C
215	サククスセクション			65	9 16 C
216	サククスセクションソリッド			65	7 16 C
217	テナーテナーサククス			66	3 16 C
218	ソプラノテナーサククス			66	5 32 C
219	ソプラノサククス			66	4 32 C
220	ソプラノ			68	4 32 A
221	ペロティッククラリネット			71	4 16 A
222	ピッコロ1			72	2 16 B
223	フルート1			73	2 32 A
224	フルート2			73	1 16 A
225	ピュアフルート			73	8 16 A
226	ハイブリッドサククス1			72	4 16 A
227	リコーダー			74	2 32 A
228	バンフルート1			75	2 32 A
229	ボルトブロー			76	2 16 A
230	Rハ			77	2 16 A
231	ホイッスル1			78	2 32 A
232	オカリナ			79	2 32 A
233	ピッコロ2			72	3 16 B
234	ハイブリッドサククス2			73	4 16 A
235	ソフトフルート			73	5 16 A
236	ホイッスル2			78	3 32 A
237	バンフルート2			75	3 16 A
シンセリード					
238	スクエアリード1			80	2 16 A
239	スクエアリリスリード			80	5 16 A
240	シンセリード			83	5 16 A
241	ソートウズリード1			81	2 16 A
242	クロスソソリード			81	8 16 A
243	シーケンスソートウズ1			81	32 16 A
244	サイノリード			80	8 32 A
245	ペロティックサイノリード			80	9 32 A
246	エスエスリード			81	3 16 A

①	②	③	④	⑤	⑥
141	チェロセクション			42	4 16 C
142	オクターブピチカート			45	3 16 A
143	ダブルピオラ			41	2 16 A
144	ハーブ2			46	1 32 A
145	コーラスハーブ			46	8 16 A
アンサンブル					
146	ストリングス			48	2 32 A
147	クロスストリングス1			49	2 32 A
148	ワイドストリングス			48	16 16 A
149	オクターブストリングス1			48	32 16 A
150	チェンバー			48	3 16 A
151	ストリングスフォルツァアンド			48	8 32 A
152	シンセストリングス1			50	2 32 A
153	シンセストリングス2			51	2 32 A
154	シンセストリングス3			51	3 16 A
155	クワイア アー			52	2 32 A
156	クワイア1			52	8 32 A
157	ボイス ドゥー			53	2 32 A
158	シンセボイス1			54	2 32 A
159	シンセボイスパッド			54	8 16 A
160	オーケストラヒット			55	2 16 A
161	ハーブ&ストリングス			50	4 16 A
162	フルート&ストリングス			51	4 16 A
163	オーケストラストリングス			48	4 16 A
164	クロスストリングス2			49	3 32 A
165	ストリングスボイス			49	4 16 A
166	オクターブストリングス2			48	1 16 A
167	アストンテントストリングス			50	3 32 A
168	クロスクワイア			52	9 32 A
169	クワイアストリングス			52	3 16 A
170	クワイア2			52	4 16 A
171	ボイス ウー			53	3 32 A
172	シンセボイス2			54	1 32 A
173	コーラスシンセボイス			54	9 16 A
ブラス					
174	トランペット			56	2 32 A
175	トロンボーン			57	2 32 C
176	チューバ1			58	2 32 C
177	ミュートトランペット			59	2 32 A
178	フレンチホルン			60	2 16 C
179	ホーンオーケストラ			60	16 16 C
180	ブラス			61	2 32 A
181	ブラスセクション1			61	3 16 A
182	ブラスフォルツァアンド			61	8 16 A
183	ブラス&ストリングス			61	4 16 A
184	ハーブブラス			61	5 16 A
185	ブラスセクション2			61	6 16 A
186	アナログシンセブラス1			62	8 16 A
187	シンセブラス1			62	2 32 A
188	シンセブラス2			63	2 16 A
189	トランスブラス			62	1 16 A
190	クロストランペット			56	8 32 A
191	ペロティックトランペット			56	4 32 A
192	ペロティックトロンボーン			57	4 16 C
193	クロストロンボーン			57	1 32 C

①	②	③	④	⑤	⑥
409	GM スラップベース 1	36	0	32	A
410	GM スラップベース 2	37	0	32	A
411	GM シンセベース 1	38	0	32	A
412	GM シンセベース 2	39	0	32	A
413	GM バイオリン	40	0	32	A
414	GM ピアノ	41	0	32	A
415	GM チェロ	42	0	32	A
416	GM コントラバス	43	0	32	A
417	GM トレモロストリングス	44	0	32	A
418	GM ピチカート	45	0	32	A
419	GM ハープ	46	0	32	A
420	GM ティンパニ	47	0	32	A
421	GM ストリングス 1	48	0	32	A
422	GM ストリングス 2	49	0	32	A
423	GM シンセストリングス 1	50	0	32	A
424	GM シンセストリングス 2	51	0	32	A
425	GM クワイア アー	52	0	32	A
426	GM ボイス ドゥー	53	0	32	A
427	GM シンセボイス	54	0	16	A
428	GM オーケストラヒット	55	0	16	A
429	GM トランペット	56	0	32	A
430	GM トロンボーン	57	0	32	A
431	GM チューバ	58	0	32	A
432	GM ミュートトランペット	59	0	32	A
433	GM フレンチホルン	60	0	16	A
434	GM プラス	61	0	32	A
435	GM シンセベース 1	62	0	32	A
436	GM シンセベース 2	63	0	16	A
437	GM ソプラノサクソ	64	0	32	A
438	GM アルトサクソ	65	0	32	A
439	GM テナーサクソ	66	0	32	A
440	GM バリトンサクソ	67	0	32	A
441	GM オーボエ	68	0	32	A
442	GM イングリッシュホルン	69	0	32	A
443	GM バスーン	70	0	32	A
444	GM クラリネット	71	0	32	A
445	GM ピッコロ	72	0	32	A
446	GM フルート	73	0	32	A
447	GM リコーダー	74	0	32	A
448	GM パンフルート	75	0	32	A
449	GM ボトルブロー	76	0	16	A
450	GM R/H	77	0	16	A
451	GM ホイッスル	78	0	32	A
452	GM オカリナ	79	0	32	A
453	GM スクエアリード	80	0	16	A
454	GM ソフトウースリード	81	0	16	A
455	GM カリオベ	82	0	16	A
456	GM チフルード	83	0	16	A
457	GM チャラン	84	0	16	A
458	GM ボイスリード	85	0	16	A
459	GM フィフスリード	86	0	16	A
460	GM ベースリード	87	0	16	A
461	GM ファンタジー	88	0	16	A
462	GM ウォーラムバッド	89	0	16	A
463	GM ポリシンセ	90	0	16	A

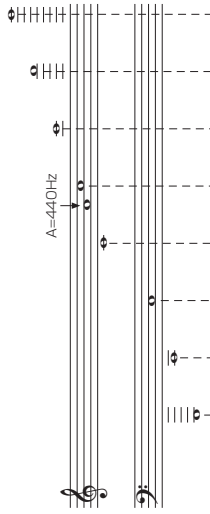
①	②	③	④	⑤	⑥
355	笛子	72	16	32	A
356	揚琴&二胡	111	8	16	A
357	箏	107	1	16	A
358	唢呐	111	32	32	A
359	琵琶 1	105	32	32	A
360	笙	109	8	32	A
361	笙バッド	107	5	16	A
362	シタール 2	104	3	32	A
363	タンブラ	104	4	32	A
364	シタールバッド	104	4	32	A
365	ラバブ	105	8	16	A
366	琵琶 2	105	4	16	A
367	三味線 2	106	3	16	A
368	テチューン琴	107	4	16	A
369	シンセ琴	107	3	16	A
370	三味線&太鼓	106	4	16	A
371	鼈	77	32	16	A
372	サントウール	15	16	32	A
GMT-100					
373	GM ピアノ 1	0	0	32	A
374	GM ピアノ 2	1	0	16	A
375	GM ピアノ 3	2	0	32	A
376	GM ホンキートンク	3	0	16	A
377	GM エレピ 1	4	0	32	A
378	GM エレピ 2	5	0	16	A
379	GM ハーフシコード	6	0	32	A
380	GM クラビ	7	0	32	A
381	GM チェレスタ	8	0	32	A
382	GM グロッケンシュピール	9	0	32	A
383	GM ミュージックボックス	10	0	16	A
384	GM ピラフフォン	11	0	32	A
385	GM マリンバ	12	0	32	A
386	GM シロフォン	13	0	32	A
387	GM チューブラーベル	14	0	32	A
388	GM ダルシマー	15	0	16	A
389	GM オルガン 1	16	0	16	A
390	GM オルガン 2	17	0	16	A
391	GM オルガン 3	18	0	16	A
392	GM バイブオルガン	19	0	16	A
393	GM リードオルガン	20	0	32	A
394	GM アコーディオン	21	0	16	A
395	GM ハンドベル	22	0	32	A
396	GM バンデオン	23	0	16	A
397	GM ナイロンストリングスギター	24	0	32	A
398	GM スチールストリングスギター	25	0	32	A
399	GM ジャズギター	26	0	32	A
400	GM クリーンギター	27	0	32	A
401	GM ミュートギター	28	0	32	A
402	GM オーバードライブギター	29	0	32	A
403	GM ティーストーションギター	30	0	32	A
404	GM ギターハーモニクス	31	0	32	A
405	GM アコースティックベース	32	0	32	A
406	GM フィンガーベース	33	0	32	A
407	GM ピックベース	34	0	32	A
408	GM プレットレスベース	35	0	32	A

①	②	③	④	⑤	⑥
301	ソフトクリスタル	98	1	16	A
302	アトモスフィア	99	2	16	A
303	フライトネス 1	100	2	16	A
304	コプリン	101	2	16	A
305	エコーパッド	102	2	16	A
306	スターテマ 1	103	2	16	A
307	スターテマ 2	103	8	16	A
308	ニューエイジパッド	88	1	16	A
309	ソフトラバッド	89	4	16	A
310	ホーンパッド	89	5	16	A
311	シックパッド	89	1	16	A
312	ポリシンセ 2	90	1	16	A
313	オルドテーパーパッド	89	6	16	A
314	ポリシンセパッド 2	90	4	16	A
315	ヘブン	91	2	16	A
316	コートピア	91	1	16	A
317	スクエアパッド	92	1	16	A
318	ソフトメタリックパッド	93	3	16	A
319	ハードメタリックパッド	93	4	16	A
320	タンパッド	93	1	16	A
321	コーラスパッド	94	1	16	A
322	オルガンクワイアパッド	94	4	16	A
323	スイーパーパッド	95	2	16	A
324	スイーパークワイア	95	1	16	A
325	クラビパッド	96	1	16	A
326	レインドロップ 2	96	3	16	A
327	サウンドトラック 2	97	3	16	A
328	スペースボイス	97	1	16	A
329	コーラルベル	98	16	16	A
330	グロッケンシュピールチャイム	98	5	16	A
331	クリスマスベル	98	3	16	A
332	ピラフフォン+エレピ	98	8	16	A
333	ナイロンギター+エレピ	99	5	16	A
334	チェレスタパッド	100	1	16	A
335	フライトネス 2	100	3	16	A
336	エコーボイス	102	1	16	A
337	エコーボイス	102	3	16	A
338	エコードロップ	102	4	16	A
339	スターテマ 2	103	1	16	A
イスニツク/中国楽器					
341	シタール 1	104	2	16	A
342	ウォームシタール	104	1	16	A
343	パンジョー	105	2	32	A
344	ミュートパンジョー	105	1	32	A
345	三味線 1	106	2	32	A
346	ツガル	106	1	32	A
347	ツガル	107	2	16	A
348	カリンバ	108	2	32	A
349	ジャナイ	111	2	32	A
350	スチールドラム	114	2	16	A
351	二胡 1	110	8	32	A
352	二胡 2	110	9	32	A
353	揚琴 1	15	8	32	A
354	揚琴 2	15	9	16	A

NOTE

- 音域のタイプ (A～D) は下記の表を参照してください。

1	2	3	4	5	6
464	GM スペースクワイア	91	0	16	A
465	GM ボウラス	92	0	16	A
466	GM メタリックパッド	93	0	16	A
467	GM ヘイロパッド	94	0	16	A
468	GM スイープパッド	95	0	16	A
469	GM レインノック	96	0	16	A
470	GM サウンドトラック	97	0	16	A
471	GM クリスタル	98	0	16	A
472	GM アトモスフィア	99	0	16	A
473	GM フライトネス	100	0	16	A
474	GM コプリン	101	0	16	A
475	GM エコー	102	0	16	A
476	GM サイエンスフィクション	103	0	16	A
477	GM シター	104	0	16	A
478	GM ハンジョー	105	0	32	A
479	GM 三味線	106	0	32	A
480	GM 琴	107	0	32	A
481	GM カリンバ	108	0	32	A
482	GM バグパイプ	109	0	16	A
483	GM フィドル	110	0	32	A
484	GM シャナイ	111	0	32	A
485	GM ティンクベル	112	0	32	A
486	GM アゴ	113	0	32	A
487	GM スチールドラム	114	0	16	A
488	GM ウッドブロック	115	0	32	D
489	GM 太鼓	116	0	32	D
490	GM ヨロディックタム	117	0	32	D
491	GM シンセドラム	118	0	32	D
492	GM リバースシンバル	119	0	32	D
493	GM ギターフレットノイズ	120	0	32	A
494	GM プレスノイズ	121	0	32	A
495	GM シーショア	122	0	16	D
496	GM バード	123	0	16	D
497	GM テレホン	124	0	32	D
498	GM ヘリコプター	125	0	32	D
499	GM アプローズ	126	0	16	D
500	GM ガンショット	127	0	32	D
ドラムセット					
501	スタンダードセット1	0	120		D
502	スタンダードセット2	1	120		D
503	スタンダードセット3	2	120		D
504	スタンダードセット4	4	120		D
505	ルームセット	8	120		D
506	パワーセット	16	120		D
507	ロックセット	65	120		D
508	ヒップホップセット	64	120		D
509	エレクトロニックセット	24	120		D
510	シンセセット1	25	120		D
511	シンセセット2	30	120		D
512	トランスセット	31	120		D
513	ジャズセット	32	120		D
514	フュージョンセット	40	120		D
515	オーケストラセット	48	120		D



a

……鍵盤演奏時の音域



b

……発音可能音域 (トランスポーズ、メッセージの受信時)



c

……bの範囲の一番近い同名の音に置き代わる音域 (トランスポーズ、メッセージの受信時)

リズムリスト

8ビート/16ビート		ジャズ		その他	
001	ストレート8ビート	047	ビッグバンド1	084	カントリー8ビート
002	メロ8ビート	048	ビッグバンド2	085	カントリーバラード
003	モダン8ビート	049	ビッグバンド3	086	カントリーシャッフル
004	ギター8ビート	050	スイング1	087	ブルーグラス
005	8ビートポップ	051	スイング2	088	デキシー
006	8ビート	052	スロースイング	089	テックスメックス
007	60'S 8ビート	053	ジャズワルツ1	090	ゴスペル1
008	16ビート1	054	ジャズワルツ2	091	ゴスペル2
009	16ビート2	055	フォックストロット	092	パソドブレ
010	16ビートシャッフル1	056	クイックステップ	093	フォルクローレ
011	16ビートシャッフル2	057	ジャズコンボ1	094	シルタキ
バラード		ヨーロピアン		フォーピアノ	
012	モダンバラード	058	シュラガー	101	ピアノ8ビート
013	スローバラード	059	ボルカ	102	ピアノバラード1
014	16ビートバラード	060	ポップボルカ	103	ピアノバラード2
015	ソウルバラード	061	ワルツ1	104	エレビバラード1
016	ポップバラード1	062	スローワルツ	105	エレビバラード2
017	ポップバラード2	063	ウイナーワルツ	106	ブルースバラード
018	6/8バラード	064	フレンチワルツ	107	ジャズコンボ2
019	ロックバラード1	065	セレナード	108	ジャズコンボ3
020	ロックバラード2	066	タンゴ	109	ラグタイム
ダンス		ラテン		110	ピアノロックンロール
021	ヒップホップ	067	マーチ1	111	ブギウギ
022	ラップポップ	068	マーチ2	112	アルベジオ1
023	ダンスポップ	069	ボサノバ1	113	アルベジオ2
024	ディスコポップ	070	ボサノバ2	114	アルベジオ3
025	テクノポップ	071	ビギン	115	6/8マーチ
026	トランス	072	サンバ1	116	マーチ3
027	モダンリズム&ブルース1	073	サンバ2	117	ストライドピアノ
028	モダンリズム&ブルース2	074	マンボ	118	ワルツ2
029	モダンダンス	075	ルンバ	119	ワルツ3
030	ディスコソウル	076	チャチャチャ	120	ワルツ4
ポップス		077	メレンゲ		
031	ポップ1	078	ボレロ		
032	ポップ2	079	サルサ		
033	ポップロック	080	レゲエ		
034	ギターポップ	081	ポップレゲエ		
035	ソウル1	082	プンタ		
036	ソウル2	083	スカ		
037	60'Sソウル				
ロック					
038	シャッフルロック1				
039	シャッフルロック2				
040	ブルース				
041	ソフトロック				
042	ラテンロック				
043	モダンロック				
044	スローロック				
045	ニューオーリンズロック				
046	ロックワルツ				

NOTE

- 110、112～120番のリズムは、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていません。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。

ソングバンクリスト

デモ曲	
	CTK-810
001	GROOVEE!
002	ケ・セラ・セラ
003	ARIANFOR
	WK-110
001	ARIANFOR
002	ケ・セラ・セラ
003	GROOVEE!
イベント	
004	おめでとウクリスマス
005	ジングル・ベル
006	きよこの夜
007	もろびとこぞりて
008	もみの木
ワールド	
009	聖者の行進
010	グリーンズリーブス
011	スウィング・ロウ・スウィート・チャリオット
012	アメijingグ・グレイス
013	ほたるの光
014	きらきら星
015	ちょうちょう
016	大きな栗の木の下で
017	ぶんぶんぶん
018	パン屋さん
019	ロング・ロング・アゴー
020	かわいいオーガステン
021	ロンドン橋
022	田んぼの中の一軒家
023	アピニョンの橋で
024	森のくまさん
025	大きな古時計
026	こげよマイケル
027	アニー・ローリー
028	マイ・ボニー
029	愛しのクレメンティン
030	植生の宿
031	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー
032	線路は続くよどこまでも
033	茶色の小びん
034	オーラ・リー
035	おお スザンナ
036	朝日のあたる家
037	黄色いリボン
038	草競馬
039	スワニー河 (故郷の人々)
040	金髪のジェニー
041	アルプス一万尺
042	赤い河の谷間
043	わらの中の七面鳥
044	ケンタッキーの我が家
045	峠の我が家
046	さらばジャマイカ
047	アロハ・オエ
048	さくら さくら
049	サンタ・ルチア
050	ワルツィング・マチルダ

ピアノ名曲集	
051	エリーゼのために
052	トルコ行進曲 (モーツァルト)
053	ソナタ 作品27の2「月光」第1楽章
054	別れの曲
055	ジムノペディ 第1番
056	エンターティナー
057	メープル・リーフ・ラグ
058	ハンガリー舞曲 第5番
059	トロイメライ
060	亜麻色の髪の乙女
061	ユーモレスク (ドヴォルザーク)
062	プロムナード「展覧会の絵」より
063	楽興の時 作品94の3
064	白鳥「動物の謝肉祭」より
065	小犬のワルツ
066	闘牛士の歌 組曲「カルメン」より
067	ラルゴ (ヘンデル)
068	結婚行進曲「真夏の夜の夢」より
069	アメリカン・パトロール
070	クシコス・ポスト
071	人形の夢と目覚め
072	貴婦人の乗馬
073	ソナタ K. 545 第1楽章
074	乙女の祈り
075	トルコ行進曲 (ベートーベン)
076	ノクターン 作品9の2 (ショパン)
077	愛の夢 第3番
078	軍隊行進曲 第1番
079	花の歌
080	華麗なる大円舞曲
ピアノ練習曲集	
081	ト長調のメヌエット
082	ガボット (ゴセック)
083	アラベスク (ブルグミュラー)
084	チョップスティックス
085	楽しき農夫
086	インヴェンション 第1番
087	アヴェ・マリア (グノー)
088	主よ、人の望みの喜びよ
089	カノン (パッヘルベル)
090	ソナチネ 作品36の1 第1楽章
091	ソナタ 作品13「悲愴」第2楽章
092	プレリュード 作品28の7 (ショパン)
093	ジュ・トゥ・ヴ
094	夢
095	喜びの歌
096	セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
097	行進曲「くるみ割り人形」より
098	家路「新世界から」より
099	夢路より
100	ダニー・ボーイ
101~105	ダウンロード曲

音色/ ノートナンバー	STANDARD SET 1	STANDARD SET 2	STANDARD SET 3	STANDARD SET 4	ROOM SET	POWER SET	ROCK SET	HIP-HOP SET	ELECTRONIC SET	SYNTH SET 1	SYNTH SET 2	TRANCE SET	JAZZ SET	BRUSH SET	ORCHESTRA SET
F7 109	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
F7 108	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
A7 106	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
B7 108	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
C# 109	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
D8 111	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
E# 112	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
F# 114	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
G# 116	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
A# 118	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
B# 120	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
C9 121	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
D# 123	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
E# 124	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
F# 126	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
G# 128	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

プログラムチェンジボタン/ドラムセット名

“←” : STANDARD SET 1 と同じ “-” : なし

フィンガードコード一覧表

よく使われるコードの各キーでの押さえ方です。(転回形も含まれています)

コード種 ルート	M (メジャー)	m (マイナー)	7 (セブンス)	m7 (マイナーセブンス)	dim7 (ディミニッシュセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	dim (ディミニッシュ)	m7-5 (マイナーセブンスフラットファイブ)
C								
C#/D♭								
D								
(D♭)/E♯								
E								
F								
F#/G♭								
G								
(G♯)/A♭								
A								
(A♯)/B♭								
B								

コード種 ルート	aug (オーギュメント)	sus4 (サスフォー)	7sus4 (セブンスサスフォー)	m add9 (マイナーアドナインズ)	mM7 (マイナーメジャーセブンス)	7-5 (セブンスフラットファイブ)	add9 (アドナインズ)
C							
C#/D♭							
D							
(D♭)/E♯							
E							
F							
F#/G♭							
G							
(G♯)/A♭							
A							
(A♯)/B♭							
B							

<CTK-810のみ>

※ スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を広げれば、このコードを指定できます。
操作については、40ページの「スプリット機能を利用するには」を参照してください。

製品仕様

型式	CTK-810 / WK-110
鍵盤	CTK-810 : 61 鍵、WK-110 : 76 鍵 (標準鍵) ……タッチレスボンス機能付き (オン/オフ)
音色数	515 音色……レイヤースプリット可
同時発音数	最大 32 音 (一部音色により最大 16 音)
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・リズムコントローラー ・伴奏の音量 ・ワンタッチプリセット	120 種類 可変 (226 段階 ♩ = 30 ~ 255) 3 種類 (カシオコード / フィンガード / フルレンジコード) スタート / ストップ、イントロ、ノーマル / フィルイン、バリエーション / フィルイン、シンクロ / エンディング 0 ~ 127 (128 段階) リズムごとの推薦音色、テンポ、レイヤー、スプリット、リバープ / コーラスの設定
3 ステップレッスン機能 ・再生方式 ・採点機能 ・連指音声機能	3 種類 (ステップ 1、2、3) 1 曲繰り返し再生 あり オン / オフ
ソングバンク機能 ・曲数 ・コントローラー	ソングバンク : 100 曲、ダウンロード曲 : 5 曲 (合計約 70KB) *1 *1 表記容量は、1KB=1024 バイト換算値です。 演奏 / 停止、一時停止、早戻し、早送り、リピート、左手、右手
ミュージカルインフォメーション機能	音色 / 自動伴奏 / ソングバンクの番号および名称、五線譜、テンポ、メトロノーム、小節数 / 拍子、ステップ レッスン表示、コード名、連指、ペダル、鍵盤、連指音声、採点機能表示、レコーダーインジケーター
メトロノーム機能 ・拍子設定	オン / オフ 0、2、3、4、5、6 拍子
レジストレーション機能 ・エリア数	32 エリア (4 セット × 8 バンク)
録音機能 ・曲数 ・録音内容 ・録音方法 ・メモリー容量	2 曲 (レッスンソング : 1 曲、ユーザーソング : 1 曲) レッスンソング : 右手パート、左手パート、両手パート ユーザーソング : トラック 1 (コード伴奏)、トラック 2 (メロディー) リアルタイム録音 約 12,000 音符 (2 曲合計)
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能	25 段階 (-12 半音 ~ 0 ~ +12 半音) 101 段階可変……A4 = 約 440Hz ± 50 セント
端子 ・USB 端子 ・サスティン / アサインابل端子 ・ヘッドホン / アウトプット端子 ・電源端子	タイプ B 標準ジャック (サスティン、ソステヌート、ソフト、リズムのスタート / ストップ) ステレオ標準ジャック <CTK-810> 出力インピーダンス 150 Ω、出力電圧 4.5V (RMS) MAX <WK-110> 出力インピーダンス 200 Ω、出力電圧 5.2V (RMS) MAX DC9V
電源 ・電池 ・家庭用 100V 電源使用 ・オートパワーオフ機能	2 電源方式 <CTK-810> 単 3 形電池 6 本使用 電池持続時間 : 約 2.5 時間 ……アルカリ電池使用時 <WK-110> 単 1 形電池 6 本使用 電池持続時間 : 約 6 時間 ……マンガン電池使用時 AC アダプター AD-5JL を使用 約 6 分後 (電池使用時) キャンセル可能
スピーカー出力	2.5W + 2.5W
消費電力	9V --- 7.7W
サイズ	<CTK-810> サイズ幅 94.5 × 奥行き 37.3 × 高さ 13.1 cm <WK-110> サイズ幅 118.7 × 奥行き 40.0 × 高さ 15.3 cm
重量	<CTK-810> 重量約 4.8kg (電池含まず) <WK-110> 重量約 7.0kg (電池含まず)
付属品	譜面立て、AC アダプター (AD-5JL)、取扱説明書 (本書)、保証書、楽譜集、CD-ROM、 和文操作シート (WK-110 のみ)

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
サスティンペダル	SP-3
	SP-20
ソフトケース	SC-550B*2
スタンド	CS-4B*2
	CS-7W

商品名	品番
イス	CB-5
	CB-7
	CB-9BN
	CB-20
楽譜集は3ページをご覧ください。	

★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店 (全国の有名楽器店、デパートなど) でお求め
になれます。

*2 CTK-810 対象

Model CTK-810/WK-110 USB端子で送信・受信されるMIDIメッセージについて

Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシックチャンネル 電源ON時 設定可能範囲	1 1 ~ 16	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 X * * * * * * * * * *	モード3 X * * * * * * * * * *	
ノート ナンバー：音域	36~96(CTK-810),28~103(WK-110) * * * * * * * * * *	0 ~ 127 0 ~ 127*1	*1：音色による
ペロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nHv = 1 ~ 127 X 8nHv = 64	○ 9nHv = 1 ~ 127 X 9nHv = 0, 8nHv = **	**：関係なし
アフター タッチ キー別 チャンネル別	X X	X ○*2	
ピッチ・バンド	X	○	
0,32 1 6,38 7 10 11 64 66 67	○ X X X X X ○*4 ○*4 ○*4 ○	○*2 ○*3 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション データエントリ ポリエーム パン エクスプレッション ホールド1 ソステヌート ソフテペダル

91 93 100, 101 120 121	X ○ X X ○	○ ○ ○*3 ○ ○	Reverb send Chorus send RPN LSB, MSB オールサウンドオフ リセットオールコントロール
プログラムチェンジ: 設定可能範囲	○ 0 ~ 127 * * * * * * * * *	○ 0 ~ 127 * * * * * * * * *	
エクスクルーシブ	○ *5	○ *5 *6	
: ソング・ポジション : ソング・セレクト : チューン	X X X	X X X	
: クロック : コマンド	○ ○	X X	
: ローカル ON/OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : リセット	X ○ X X	X ○ ○ X	
備考	*2: モジュレーションとピッチチャンネル別アフタータッチは同一効果 *3: フォインチューン、コースチューンの変更、およびピッチベンドセンサ、RPN Nullの発振 *4: アサインダブルジャックの設定により決— *5: リバーブタイプ [F0] [7F] [04][05] [01] [01] [01] [01] [01] [01] [00] [w] [F7] w=00: Room1, 01: Room2, 04: Hall1, 03: Hall2 コーラスタイプ [F0] [7F] [04][05] [01] [01] [01] [01] [01] [02] [00] [w] [F7] w=00: Chorus1, 01: Chorus2, 02: Chorus3, 03: Chorus4	マスターフアインチューン [F0] [7F] [04] [03] [01] [mm] [F7] マスターコースチューン [F0] [7F] [04] [04] [01] [mm] [F7] 01は下位バイト, [mm]は上位バイト *6: GM オン/オフ GM ON: [F0] [7E] [7F] [09] [01] [F7] GM OFF: [F0] [7E] [7F] [09] [02] [F7] マスターポリューム [F0] [7F] [04] [01] [01] [mm] [F7] 下位バイト01はOOHとして処理します。	

モード1: オムニ・オン、ポリ
モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ
モード4: オムニ・オフ、モノ

○ : あり
X : なし



This recycle mark indicates that the packaging conforms to the environmental protection legislation in Germany.

これは、梱包箱がドイツの環境保護法に適合していることを示すリサイクルマークです。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

© MA0702-A Printed in China
CTK810/WK110JA1A